



CoinGecko

2023 Q2

仮想通貨業界 レポート

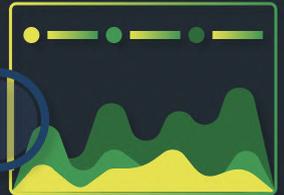
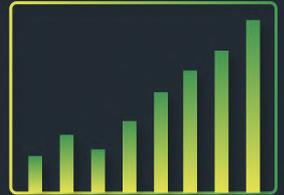
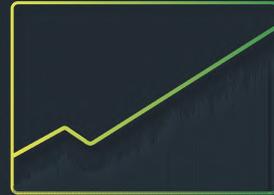
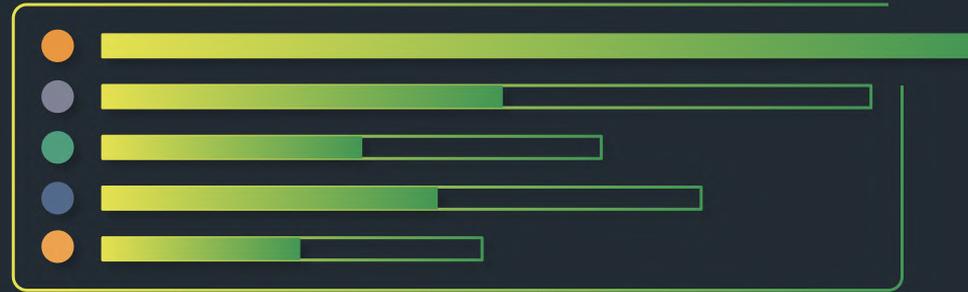
協賛:



メディアパートナー:



Pacific Meta



市場データ。分析。クラウドソーシングによる洞察。

Table of Contents

- 創設者コメント 2
- 市場のランドスケープ 3
 - 2023年第2四半期の暗号通貨市場全体の概要
 - 2023年第2四半期の暗号通貨の市場シェア
 - 2023年第2四半期の暗号通貨価格のリターン
 - 2023年第2四半期トップ15ステーブルコインの概要
 - 2023年第2四半期の暗号通貨時価総額とビットコイン対 S&P 500
 - 2023年第2四半期の注目すべきイベントのタイムライン
 - BinanceとCoinbaseに対するSECの訴訟
- ビットコイン分析 11
 - 2023年第2四半期のビットコイン価格と取引高
 - 2023年第2四半期のビットコインマイニングハッシュレート
 - 2023年第2四半期のビットコインと主要資産クラスの価格リターン
 - 米国でのスポットビットコインETFアプリケーション
- イーサリアム分析 16
 - 2023年第2四半期イーサリアム価格と取引高
 - 2023年第2四半期イーサリアムコンセンサスレイヤーステーキング
 - 2023年第2四半期のイーサリアム燃焼率
 - 2023年第2四半期の最大抽出可能価値 (MEV)
 - 2023年5月のミームコインブーム

- DeFi 分析 23
 - 2023年第2四半期DeFiの概要
 - 2023年第2四半期のDeFiマルチチェーン市場シェア
 - 2023年第2四半期のDeFiエコシステムの概要
 - 2023年第2四半期のクロスチェーンブリッジの流動性
 - LSDFI
- 非代替性トークン (NFTs) 30
 - 2023年第2四半期、上位8チェーンのNFT取引高
 - 2023年第2四半期のNFTプラットフォーム取引高
 - 2023年第2四半期の注目すべきNFTコレクション
 - NFTレンディング
- 取引所 36
 - 2023年第2四半期の暗号通貨取引所の総取引高
 - 2023年第2四半期スポット中央集権型取引所 (CEX) 取引高トップ10
 - 2023年第2四半期スポット分散型取引所 (DEX) 取引高トップ10
 - 2023年第2四半期スポットDEX取引高のチェーン別内訳
 - 2023年第2四半期中央集権型パーペチュアル取引所の取引高トップ10
 - 2023年第2四半期の中央集権型パーペチュアル取引建玉トップ10
 - 2023年第2四半期の分散型パーペチュアルプロトコル取引高
 - 2023年第2四半期の分散型パーペチュアルプロトコル建玉

分析者 :



Win Win



Shaun Lee



Weng Dee



Nicholas Boey



Zhong



第 1 四半期の活況の後、仮想通貨市場がその利益の一部を固めるにはしばらく時間がかかると予想するのは当然のことでした。4月と5月は比較的穏やかな月で、特に4月12日にイーサリアムのシャペラが実装された後は、市場に強力で包括的なナラティブがありませんでした。この時点で、「5月に売ったら消えてしまう」というよく知られた格言が、まさに真実のようになりました。イーサリアムのアップグレードの成功と、有効化後の出金の欠如により、より多くの人々が ETH をステーキングするにつれて、リキッドステーキングデリバティブは急速に加速しました。第2四半期終了時点で、ETH総供給量の17%以上がステーキングされていました。セキュリティと集中リスクに対する懸念は依然として残っていますが、ステーキングされたETHは、人々が今後何年にもわたって構築できる核となるDeFiの基本要素として明らかに浮上しています。仮想通貨には退屈な瞬間はなく、この四半期のドラマは6月に米国SECによって即座に引き起こされました。2023年も一連の執行措置を継続し、規制当局は違法に証券取引所を運営するとして、世界最大の中央集権型取引所であるバイナンスとコインベースに対して訴訟を起こしました。両取引所が法廷でSECに異議を申し立てる準備を整える中、米国の仮想通貨規制の将来も危機に瀕しています。SECは主張の中で、管轄権を行使しようと、多数のアルトコインの名前を槍玉に挙げました。裁判所がSECの定義に同意した場合、業界と米国でのプロジェクトの運営に重大な影響を及ぼすこととなります。SECの執行措置については長らく噂されていたにもかかわらず、このニュースは依然として市場全体に衝撃を与え、価格と流動性の両方が急速に下落しました。BTCが2万5000ドルを割り込み、訴訟で名前が挙げられたアルトコインも大きな打撃を受けたため、一時は仮想通貨の時価総額が1兆ドルを下回るかと思われました。市場が危機的状況に向かうかと思われたとき、世界最大の資産運用会社ブラックロックがスポットビットコインETFの提供をSECに申請したというニュースが流れ、雰囲気は一変しました。SECは長年にわたりスポットビットコインETFの承認に抵抗してきたが、ブラックロックがこの争いに飛び込むことで期待が再燃しました。ウィズダムツリー、インベスコ、フィデリティなどの他の資産運用会社もすぐに追随し、同様の申請を提出しました。

SECが既存の金融機関によるこれらの直近の申請に従うかどうかは不明ですが、このニュースによりビットコインはすぐに3万ドルを超える水準に戻りました。この結果、2023年第2四半期の仮想通貨時価総額は1兆2400億ドルで終了し、実質的に四半期の開始時点に戻り、依然として年初からほぼ50%増加しています。米国内の仮想通貨の規制状況は依然として困難を極めていますが、世界の他の地域では大きな進歩が見られます。欧州は今年5月にMiCA規制を可決し、香港は6月に取引所に対する規制を導入し、英国は最近仮想通貨を金融規制下に置く法案を可決しました。米国市場の魅力は常にそこにありますが、現時点では、仮想通貨プロジェクトはおそらく、より仮想通貨に積極的な地域を探する必要があります。私たちがこれを書いている現在、FUDの新たなサイクルがNFT、特に最近の論争を受けて大幅な下落を経験したAzuki、Apes、Moonbirdsなどのいわゆる「ブルーチップ」コレクションを襲ったばかりです。創設者と保有者の間の期待の不一致については多くのことが言われていますが、NFTプロジェクトは単なるJPEGを超えて進化する必要があります。多くの成長痛が伴うようです。今後、これらのプロジェクトのうちどれだけが真のブルーチップであることが証明されるか、私たちは楽しみにしています。仮想通貨業界は、確かに劇的な瞬間があり、時にはビルダーが築いている確かな進歩に、影を落とすこともあるでしょう。私たちはまだ、新しいzkEVM Layer 2の導入やUniswapのV4の発表、または現実世界の資産がパブリックブロックチェーンに移行していることについて言及していません。CoinGecko側では、ウェブとモバイルの両方でNFT最低価格トラッカーを段階的に展開し、ユーザー向けのAPIエンドポイントを拡張し、オンチェーンDEXトラッカーであるGecko Terminalを継続的に改善してきました。これらのエキサイティングなアップデートをぜひチェックいただき、フィードバックをください。そして、第2四半期レポートとこの夏をぜひお楽しみください！



Bobby Ong
COO

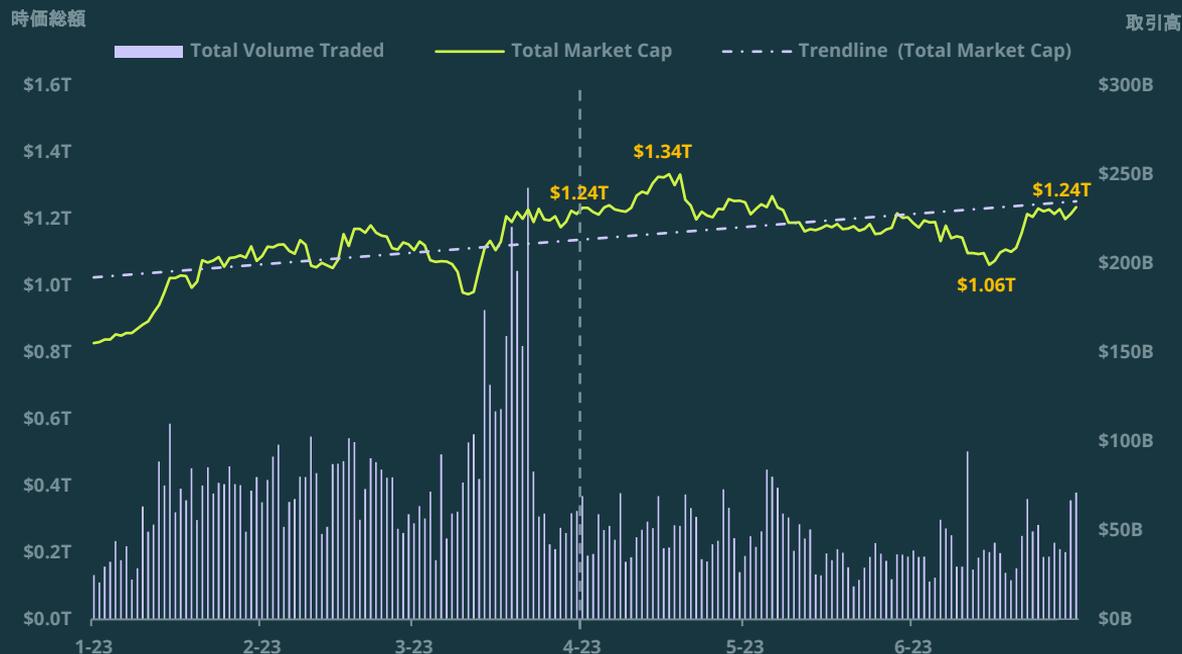
TM Lee
CEO

市場のランドスケープ

2023年第2四半期の暗号通貨市場全体の概要

暗号通貨全体の時価総額は2023年第2四半期に若干の変動を経験したが、第2四半期開始時点の1.2兆ドルで終了した

時価総額とスポット取引高の合計 (2023年1月~6月)



+0.14%

2022年第2四半期の暗号通貨
全体の時価総額の変化

時価総額は2023年第2四半期に1.2兆ドルで始まったが、絶対ベースでは17億ドルの増加にとどまった。

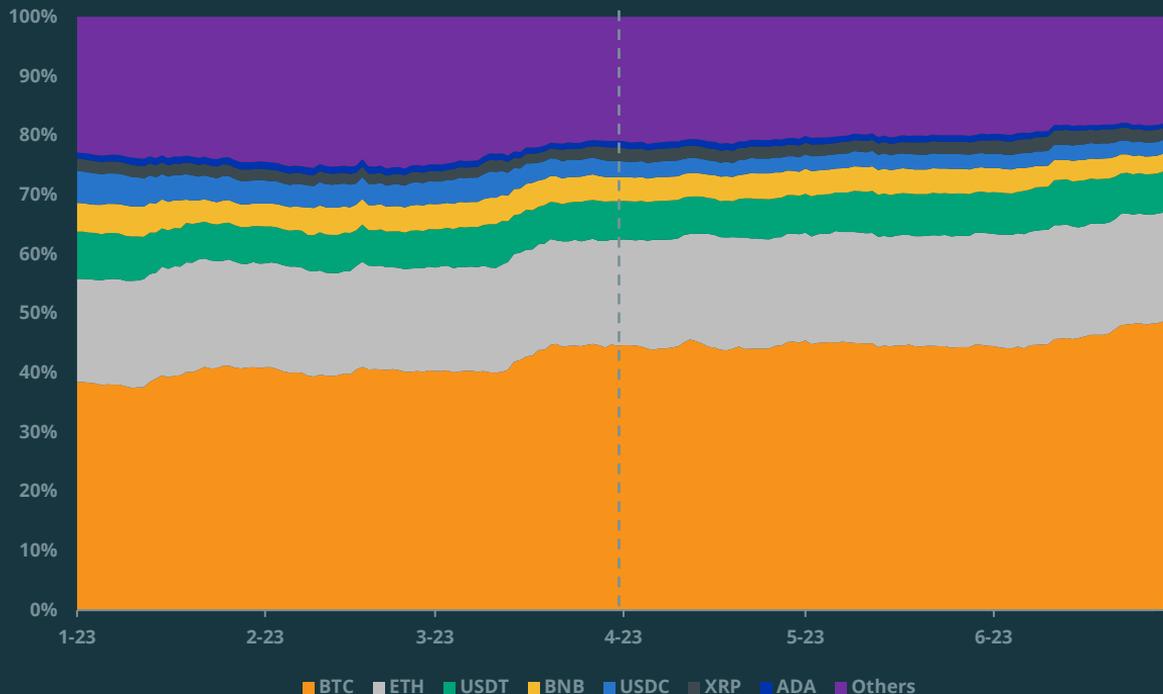
しかし、1日の平均取引高は前四半期比 42.7% 減少し、442 億ドルにとどまっている。パイナンスがBTCのゼロ手数料取引インセンティブを廃止した3月下旬に取引高が大幅に減少し、第2四半期も徐々に減少し続けた。

トップ 30 については、13 位から上昇して 9 位の MATIC を上回ってトップ 10 にランクインした LTC などの注目すべきトークンがいくつかある。また、BCHも27位から18位に上昇した。どちらのトークンもEDXマーケットへの上場を受けて上昇した。BUSDは12位から18位まで下落し続けている。TUSD(23位)とICP(30位)がトップ30に入ったが、FILとHBARはランク外となった。

2023年第2四半期の暗号通貨の市場シェア

5月に短期間のミームコインブームがあったものの、投資家はアルトコインから「メジャー」なトークンに資金を移行したため、ビットコインの市場シェアは上昇し続けている

各暗号通貨の市場シェア (2023年1月~6月)



ビットコインは上昇を続け、市場シェアは3.2%上昇して47.9%となり、2021年第2四半期以来の水準となっている。ETHも2023年第2四半期に1.0%わずかに上昇した。USDT、USDC、XRP、ADAは市場シェアを維持したが、BNBは1.0%のわずかな減少を記録した。

「その他」が-2.4%という最大の下落を記録し、これは、資本が下位キャップのアルトコインからビットコインやイーサリアムのような「メジャー」にローテーションしていることを示している。

2023年第2四半期の暗号通貨価格のリターン

一部の CEX トークンを除いて、アルトコインは BTC と ETH に対して下落した

	Q2 2023	Q1 2023
Top 5 Cryptocurrencies		
BTC	7%	72%
ETH	6%	52%
BNB	-24%	29%
XRP	-12%	58%
ADA	-28%	52%
Top 5 DeFi Tokens		
UNI	-13%	17%
LINK	-17%	36%
LDO	-16%	158%
AAVE	-5%	43%
GRT	-28%	162%
Top 5 Exchange Tokens		
BNB	-24%	29%
LEO	13%	-3%
OKB	6%	61%
CRO	-19%	24%
WBT	-2%	31%
Top 5 Play-To-Earn Tokens		
SAND	-34%	64%
IMX	-35%	196%
MANA	-35%	98%
AXS	-29%	39%
GALA	-41%	149%

第2四半期の2023年を終える中で、上位5つの暗号通貨では、BTC(+7%)とETH(+6%)が第1四半期の上昇を継続し、引き続きプラスで終了しました。一方、BNB(-24%)、XRP(-12%)、およびADA(-28%)は、2桁台の損失を経験した。また、これにより、前四半期の利益の一部を取り戻した。ADAとBNBは、両方がBinanceとCoinbaseに対するSECの訴訟で証券として指定された後、大きな損失を被った。

AAVE (-5%) を除いて、DeFiトークンのUNI (-13%)、LINK (-17%)、LDO (-16%)、GRT (-28%) はすべて2桁下落し、2023年第1四半期の回復に影をひそめている。これらの下落は2月中旬頃から始まっており、BTCの下落と一致している。

上位の取引所トークンは他のセクターに比べて被害が少なく、BNB (-24%) が最大の損失を被ったが、これはBinanceが SEC に訴えられたことによるものと考えられる。

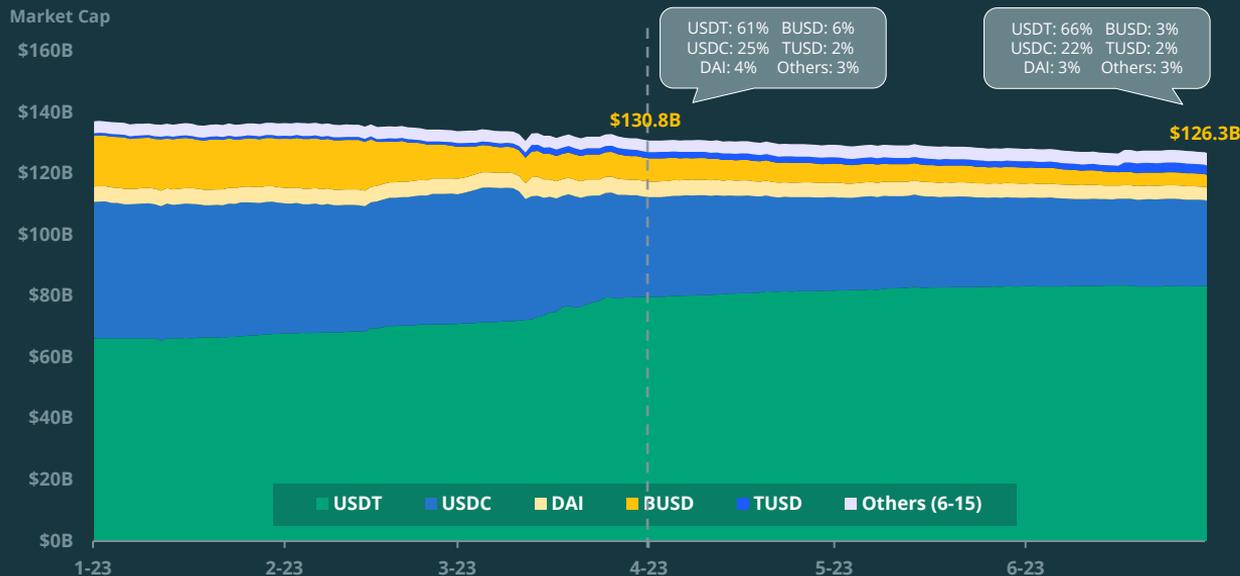
LEO (+13%) と OKB (+6%) は若干の上昇を見せたが、WhiteBit 取引所トークン WBT は、Bitfinex への上場と独自のブロックチェーン テストネットの立ち上げを受けて、KCSに代わって第5位になった。

2023年第1四半期に力強い回復を見せた後、Play-to-Earnセクターが最も大きな打撃を受けており、トップ5のP2Eトークンは30~40%下落した。2023年第1四半期にトップ5に入ったWEMIXは再び後退し、GALAがその座を奪った。

2023年第2四半期トップ15ステーブルコインの概要

USDTは引き続き優勢であり、現在市場シェアの66%を占めているが、ステーブルコイン市場全体では純流出が見られる

トップ15ステーブルコイン時価総額の内訳 (2023年1月~6月)



-3.5%

2023年第2四半期のトップ15のステーブルコイン時価総額推移

上位 15 のステーブルコインは、2023 年第 2 四半期に時価総額が約 3.5%、46 億ドル減少し、現在は 1,263 億ドルとなっている。

第2四半期の間、USDTは絶対的な価値で最も多くの利益を上げた。一方、Paxosが撤退を発表し、流通から34億ドルが抜けたことにより、BUSDは下落を続けた(-45%)。DAIは第2四半期に損失を見ましたが、それでもBUSDの代わりに第3位のステーブルコインの座を取った。

Binanceがトロンネットワーク上で約10億ドル相当をミントし、TUSDペアの手数料ゼロ取引を導入した後、TUSDの時価総額は50%急上昇した。しかし、第2四半期の終わり近くに、そのカスタディアンの一つであるPrime Trustとそのオーディターに起因するFUDが発生した。

トップ5以外では、GUSD(+44.4%)、flexUSD(+33.4%)、USDP(+30.0%)が最も上がった銘柄であり、一方USTCが最も値下がった銘柄(-43.2%)となった。

 **\$83.3B**
+\$3.48B (+4.4%)

 **\$27.4B**
-\$5.18B (-15.9%)

 **\$4.3B**
-\$0.76B (-14.9%)

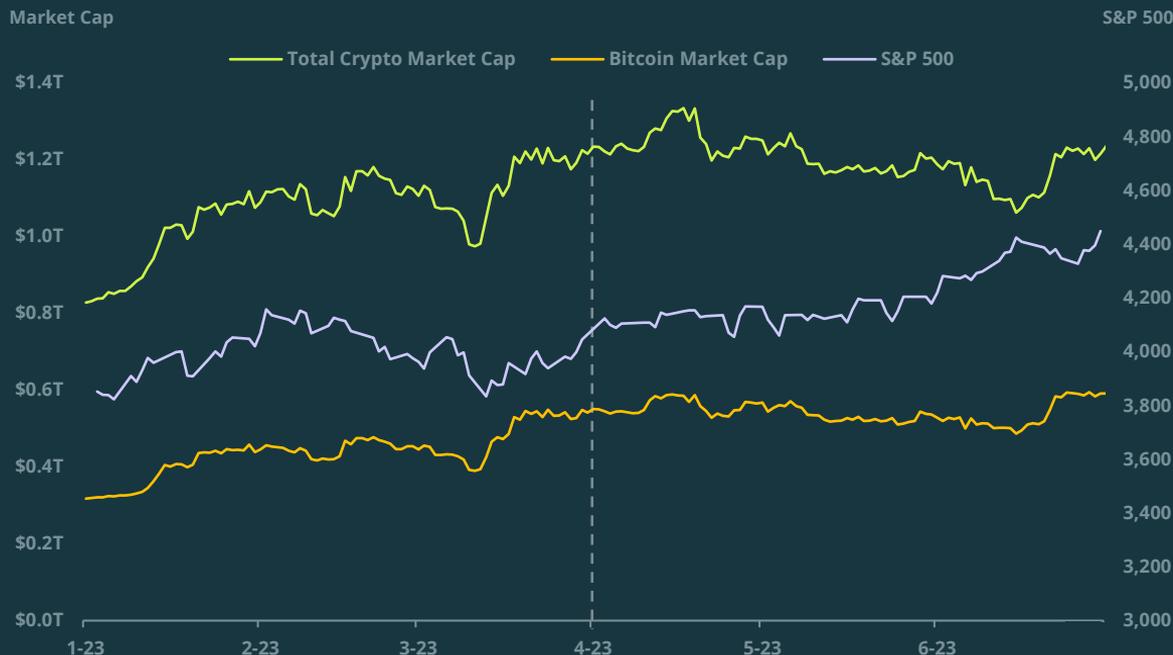
 **\$4.1B**
-\$3.43b (-45.4%)

 **\$3.1B**
+\$1.02B (+50.0%)

2023年第2四半期の暗号通貨時価総額とビットコイン対S&P 500

S&P 500 は上昇を続ける一方で、暗号通貨の時価総額は横ばいであり、その結果、相関関係はややマイナスに転じている

暗号通貨時価総額とビットコイン対S&P 500 (2023年1月～6月)



ビットコインとS&P500の相関関係は、2023年第1四半期の低いプラス (0.31) から第2四半期にはわずかにマイナス (-0.09) に反転した。S&Pは、超大型株やAI関連株の好業績を背景に第2四半期に約4,000ポイントから約4,400ポイントまで上昇したが、暗号通貨は横ばいのままだった。一方、暗号通貨時価総額とS&P 500の相関関係は-0.54とややマイナスだった。

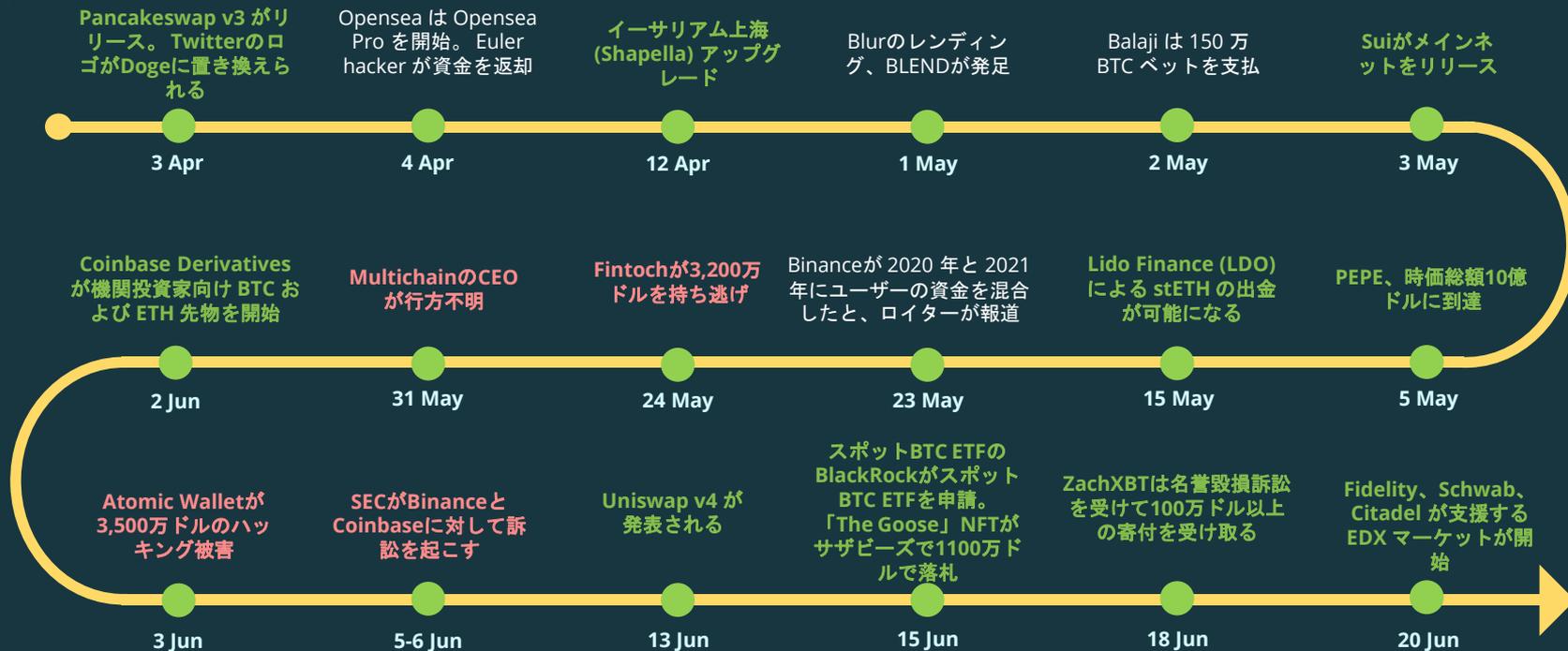
2023年第2四半期の暗号通貨時価総額とビットコインの相関関係は通常よりも低く、0.84であった。これは、ビットコインが暗号通貨市場全体よりもその価値を維持していた結果である。2023年第2四半期の暗号通貨時価総額とビットコインの相関関係は通常よりも低く、0.84であった。これは、ビットコインが暗号通貨市場全体よりもその価値を維持していた結果である。

暗号通貨の時価総額は2023年第2四半期に横ばいに終わったが、7.9%上昇したS&P500と比べて変動性は最大3倍だった。

一方、S&P 500と同様に、ビットコインの時価総額は7.3%上昇したが、第2四半期の年率ボラティリティは40.6%で、S&P 500の第2四半期の年率ボラティリティ12.3%の3.3倍だった。

2023 年第 2 四半期の注目すべきイベントのタイムライン

第2四半期には、SECがCoinbaseとBinanceを提訴し、続いてBlackRockがBTC ETFを申請したほか、ETH Shapellaアップグレードと5月のMemecoinブームなど、その他いくつかの注目すべきハイライトも見られる



The SEC's Lawsuits against Binance and Coinbase



VS



2023年6月5日

SECはBinance、Binance.US、創設者CZに対して訴訟を起こした。具体的な訴訟内容は以下が挙げられる。

- Binance.com および Binance.US を通じて、未登録の取引所、ブローカー、清算機関を運営
- BNB、BUSD、およびそのBNB VaultおよびSimple Earn offeringsを通じて未登録の有価証券の提供および販売を実施
- Binance.USがBinance.comから独立して運営されているとの主張、および操作的な取引を防止するために実施された監視・管理体制など、Binance.USで実施されていると主張する管理体制について、投資家に対して虚偽の陳述を行い、誤解を招いた

2023年6月6日

SECは裁判所に対し、Binance.USの資産を凍結するように求めた。

2023年6月9日

Binance.USは、すべての米ドルの入出金を凍結し、すべての米ドル取引を停止し、暗号通貨専用取引所に移行すると発表した。

2023年6月17日

裁判所は、SECが6月6日に提出したBinance.USの資産凍結の要請を却下した。裁判所命令による合意により、Binance.USの顧客資産は米国に送還され、米ドルの出金が再び有効になる。



VS coinbase

2023年3月23日

Coinbaseは、ステーキングの提供とアセットリスティングに関してSECからウェルズ通知を受け取った。

2023年6月6日

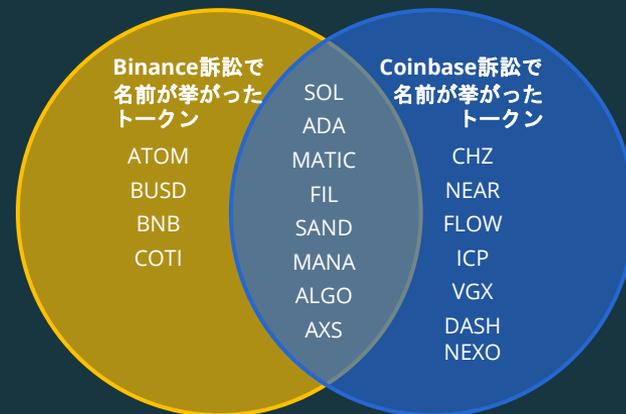
SECはCoinbaseに対して訴訟を起こした。具体的な内容としては、以下が挙げられる。

- 未登録の取引所、ブローカー、清算機関として運営
- Coinbase PrimeおよびCoinbase Walletサービスを通じて未登録ブローカーとして運営
- ステーキングプログラムを通じて未登録証券を提供および販売

2023年6月29日

Coinbaseは、SECの訴訟を却下する申し立てを提出する旨の回答と意図通知を提出した。

SECによって有価証券として指定されたトークン



SECは訴訟の一環として、自身の管轄権を確立する、複数のトークンを有価証券として指定していた。

これを受けて、多くのプロジェクトが直ちに、自分たちのトークンが有価証券を構成することを否定する声明を発表。しかし、明確な規制上の指針がないため、この問題は法廷で解決される可能性が高い。

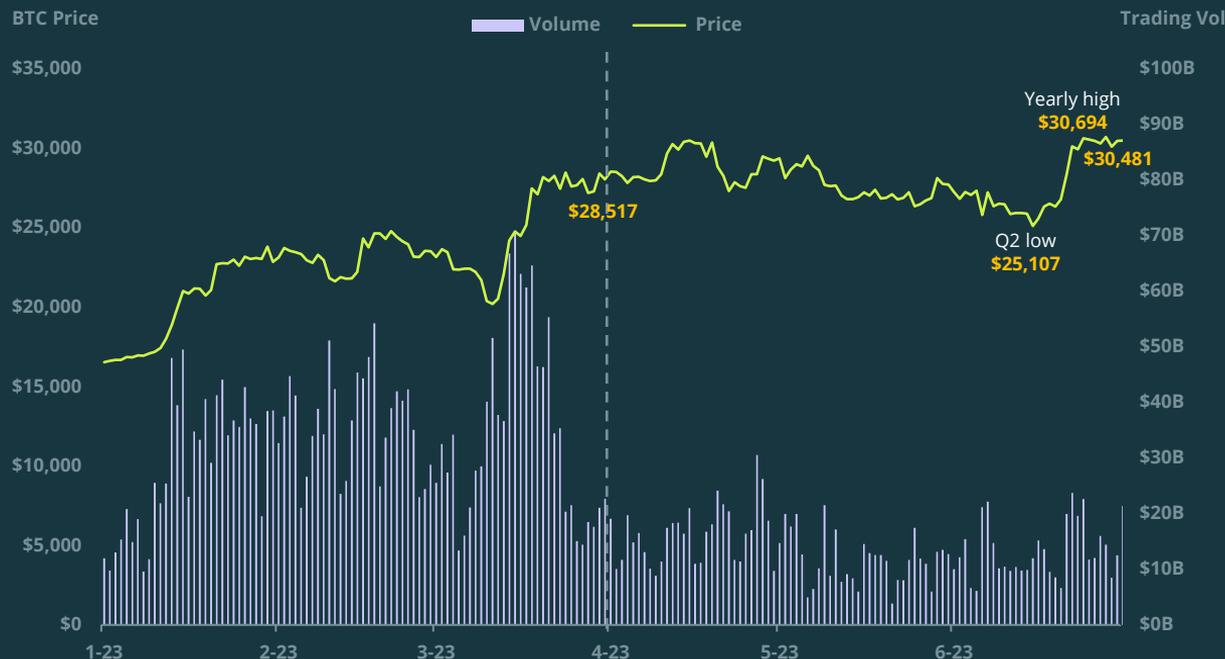
しかし、SECが指名したトークンはすべてリストの公開後に価格をおとし、米国拠点のプラットフォームであるRobinhoodはすでにSOL、MATIC、ADAを取引から削除していることから、影響はすでに感じられている。

ビットコイン分析

2023年第2四半期のビットコイン価格と取引高

BTCは2023年第2四半期に多少のボラティリティがあったものの、6.9%上昇して四半期を終え、暗号通貨市場全体を上回った。

ビットコイン価格と現物取引高（2023年1月～6月）



+6.9%

2023年第2四半期
ビットコインプライスリターン

2023年第2四半期、BTCは+6.9%のリターンで全体の暗号通貨時価総額を上回った。

4月中旬までの第1四半期の力強い上昇の後、BTCは約18%下落して25,107ドルになった。その後、BlackRockのスポットビットコインETF申請の発表を受けて反発し、2023年の新高値となる30,694ドルに達した。

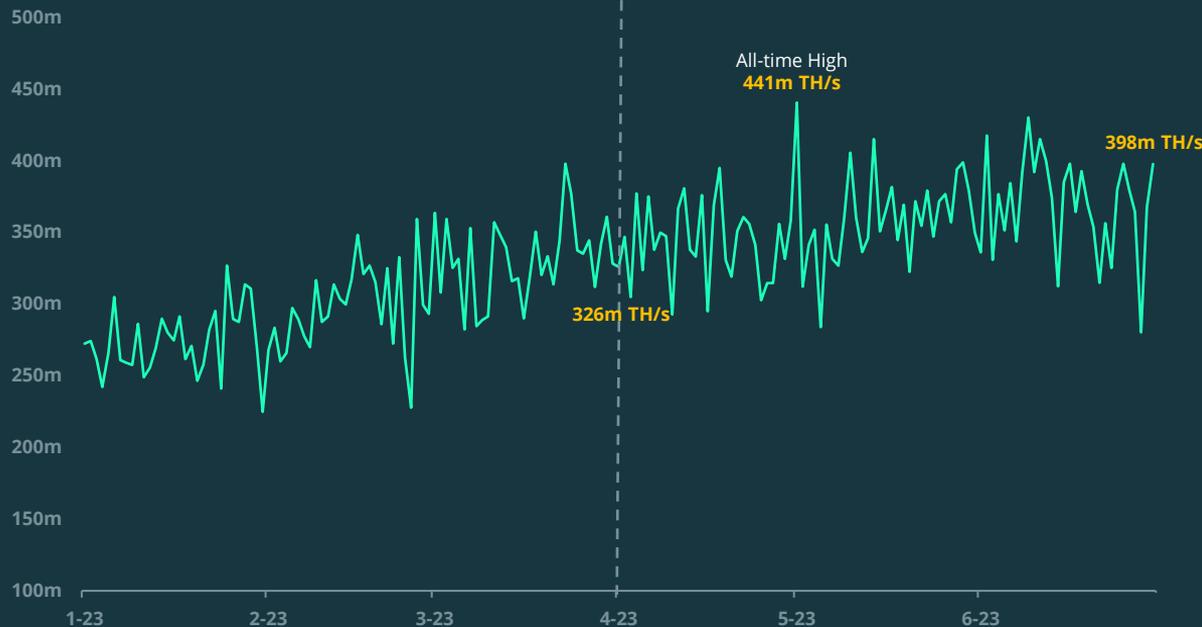
価格は引き続き上昇傾向にあるが、2023年第2四半期の1日の平均取引高は138億ドルで、前四半期比58.7%減少した。

この四半期のビットコインの注目すべき動向には、BRC-20トークンの導入によるBitcoin Originalsの継続的な上昇や、BlackRock含む、多数のスポットビットコインETF申請が含まれる（スライド15を参照）。

ビットコインのトータルハッシュレートとマイニング難易度は、2023年第2四半期も引き続き上昇傾向にあり、過去最高を記録。一方、Ordinalsからの取引手数料の高騰はマイナーに恩恵をもたらした

ビットコインのトータルハッシュレート (2023年1月~6月)

Hash Rate TH/s



+22.0%

2023年第2四半期
ビットコインのハッシュレート上昇率

マイニングハッシュレートは上昇を続け、前四半期比22%増加し、5月1日にはさらにATHである4億4100万TH/sに達した。6月13日、マイニング難易度が史上初めて50兆のマークを超えた。

Ordinalsの恩恵により、5月8日の数時間、ブロックごとに支払われた平均料金がブロック交付金を超え、これは史上5回目の出来事であった。

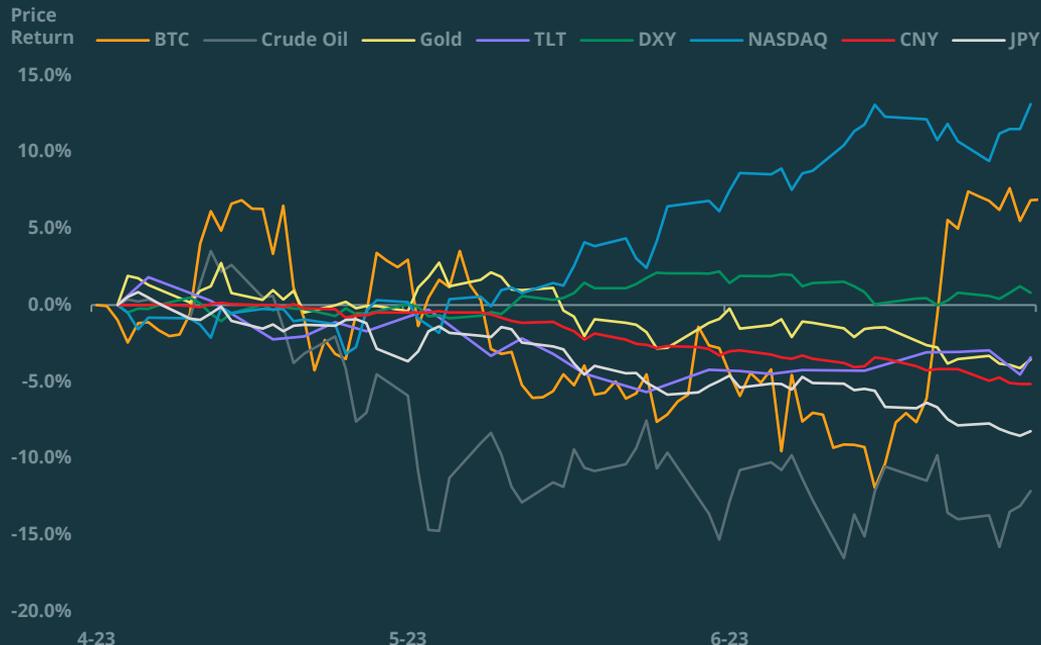
マイニング業界は発展を続けている:

- マイナーは拡大を続けている - Riot は 33,280 ASIC マイナーを購入した。CleanSpark は第1四半期の買い占めを継続し、第2四半期にはさらに 57,000 人のマイナーを購入した。
- マイナーが使用する電力に10%の税金を課す米国の「反マイニング」法案は5月に否決され、テキサス州とアーカンソー州ではビットコインマイニングに有利な法案が可決された。
- ジャック・ドーシー氏のオープンソース、5nmビットコインマイニングチップのプロトタイプが完成。

2023年第2四半期のビットコインと主要資産クラスのプライスリターン

第1四半期の良好なパフォーマンスに引き続き、NASDAQとS&P500に劣るものの、ビットコインは第2四半期でも依然としてほとんどの主要資産クラスを上回っている。

ビットコインと主要な資産クラス (2023年4月から6月)



	Q2 2023 Return	Q1 2023 Return
BTC	7%	72%
S&P 500	8%	5%
NASDAQ	14%	16%
CRUDE OIL	-12%	-6%
GOLD	-3%	8%
TLT (Treasury Bonds)	-3%	4%
DXY (US Dollar Index)	0%	-1%
JPY	-8%	-1%
CNY	-5%	-2%
GBP	3%	2%
SGD	-2%	1%
EUR	0%	1%

大型ハイテク株の上昇のおかげで、NASDAQ(+14%)とS&P 500(+8%)が2023年第2四半期の上位2銘柄となり、続いてBTC(+7%)が3位になった。

原油(-12%)は、米国の景気後退懸念、中国の経済成長の鈍化、ロシアからの予想を上回る石油供給などの要因が重なって、最大の下落となった。中国経済を巡る懸念も人民元の下落(-5%)に寄与した。

他国の中央銀行と異なり、日本銀行は金利を低く維持すると予想されているため、日本円(-8%)は2番目に大きな損失を記録した。

米国におけるスポットビットコインETFの申請

BlackRockの申請は市場を驚かせ、既存の資産運用会社が競争に参入するきっかけを生み、市場は強気ムードに入った

2023年に提出されたスポットビットコインETF申請

Issuer	Spot Bitcoin ETF Name	Application Date
 ARK + 	ARK 21Shares Bitcoin ETF	April 25
BlackRock	iShares Bitcoin Trust	June 15
Bitwise	Bitwise Bitcoin ETP Trust	June 16
 Invesco	Invesco Galaxy Bitcoin ETF	June 20
 WISDOMTREE	WisdomTree Bitcoin Trust	June 20
VALKYRIE	Valkryie Bitcoin Fund	June 21
VanEck	VanEck Bitcoin ETF	June 22
 Fidelity	Wise Origin Bitcoin Trust	June 29

SECは過去に先物ベースのビットコインETF、特に2021年10月にローンチされた\$BITOを承認していた。しかし、これまでスポットビットコインETFの承認はしており、これまで30件の申請があった。

規制当局が挙げた主な理由は、根底にあるスポット市場における規制の欠如と市場操作のリスクを巡る懸念に関連していた。

6月15日にBlackRockがスポットビットコインETFを申請したことにより、同様の申請をする競争が始まり、これまでに合計8社の資産運用会社が申請を行った。

BlackRockの申請は、2017年にビットコインを「マネーロンダリングの指標」と呼んだBlackRock CEOラリー・フィンク氏の立場の変化を如実に示している。

ETF申請に先立ち、BlackRockは2022年8月に顧客のビットコインの管理と取引を支援するために、コインベースとの提携を発表していた。また、2022年4月にはCircleへの出資も発表していた。

SECの最初のフィードバックに対処するために、申請者8社全員がビットコインスポット市場の市場監視プロバイダーとしてCoinbaseを指名した。

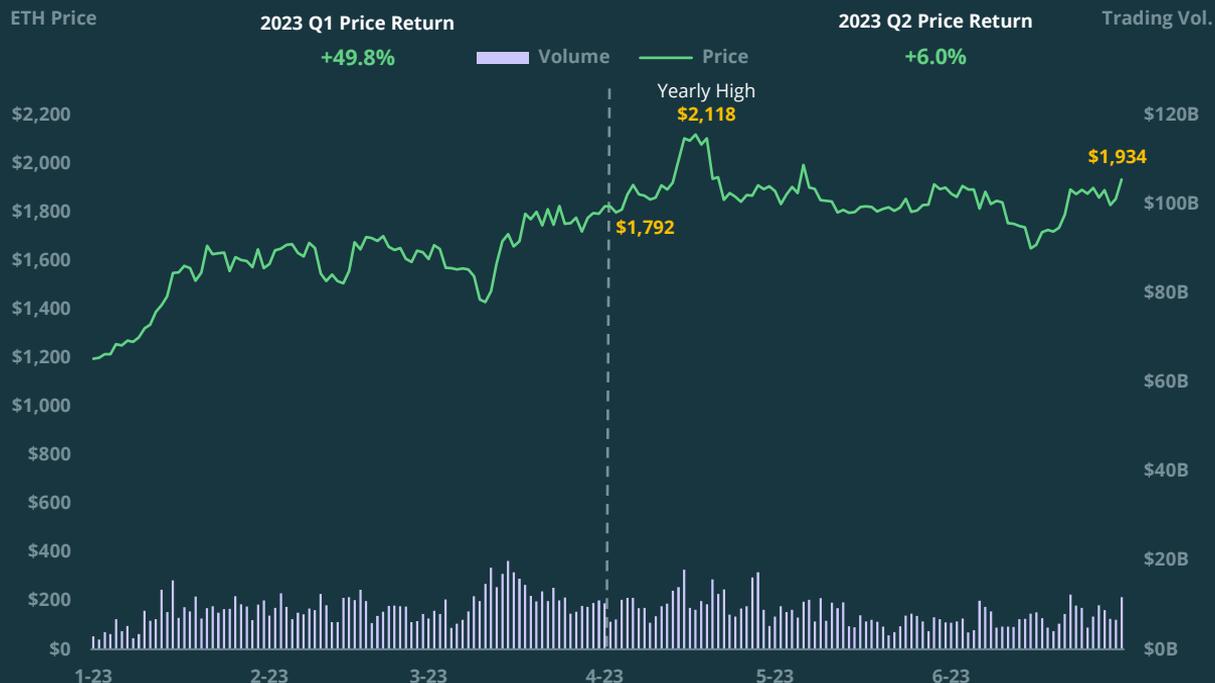
この発表により、GBTCがETFに転換されるとの期待から、グレイスケールのGBTCの割引率は2022年5月以来初めて-30%を超えて縮小した。

イーサリアム分析

2023年第2四半期イーサリアム価格と取引高

ETHの価格は2023年第2四半期に6%上昇し、ビットコインよりわずかに低いものの、依然として暗号通貨市場全体を上回っている

イーサリアム価格とスポット取引高（2023年1月～6月）



+6.0%

2023年第2四半期
ETHプライスリターン

ETHは2023年第2四半期を1,934ドルで終了し、期中に6.0%の上昇となった。

同四半期は1,792ドルでスタートし、4月中旬には年初来高値の2,118ドルを記録した。これは、4月12日のシャペラの実装と一致している。初期のステーカーがステークしたETHを取り出し売却するのではないかと懸念にもかかわらず、ETHの価格は2023年で初めて2,000ドルを超えた。その後その水準を下回った。

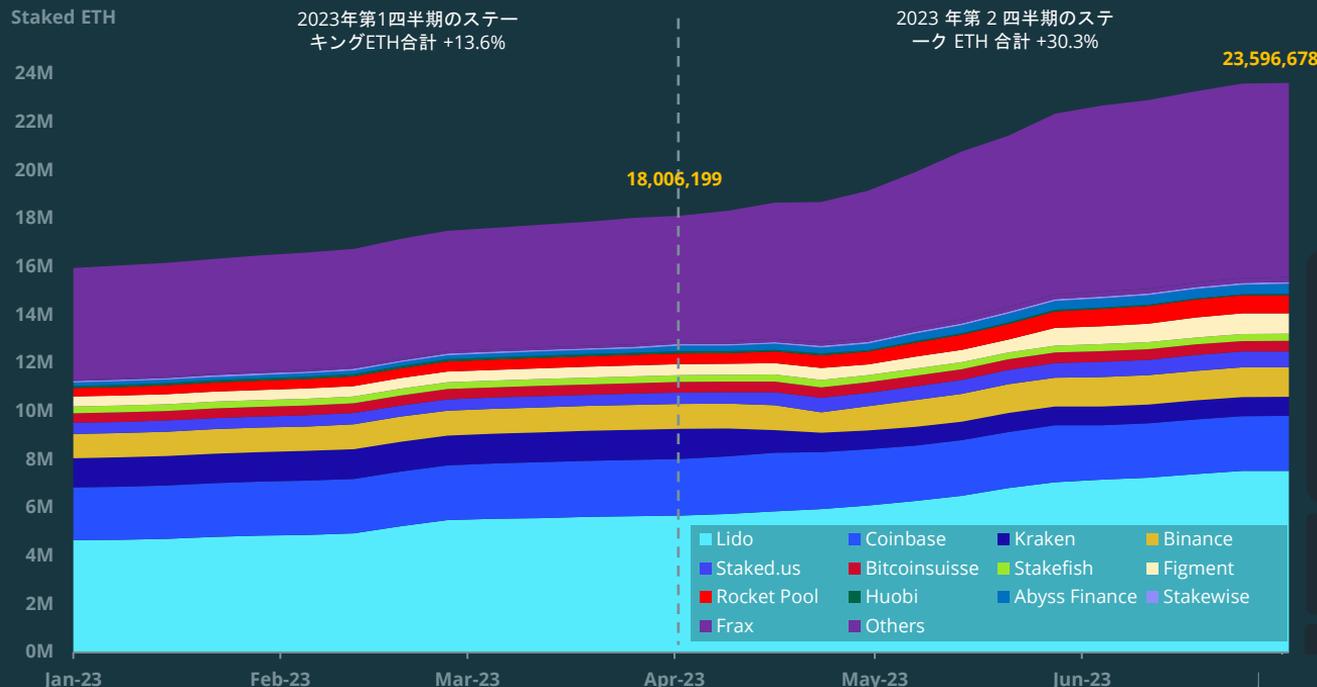
この四半期は、イーサリアムのゼロ知識証明関連のプロジェクトで様々なニュースがある：

- zkSyncは、一連のカスタムブロックチェーンであるHyperchainsに関する計画を発表した。
- Starknetは、EVM互換の実現に向けて、Kakarotという形でテストネットのzkEVMを立ち上げる準備を進めている。
- Polygonは、PoSネットワークをzkEVM validumにアップグレードすることを発表した。

2023年第2四半期イーサリアムコンセンサスレイヤーステーキング

ETHステーキングは、引き出しが可能になった後、2023年第2四半期に大きく成長した (+30.3%)。Krakenが市場シェアを失う中、Lidoは依然として全体をリードしている

バリデーターでステークされたETHの合計 (2023年1月~6月)



出典: グラスノード



ステーキングされたETHの合計は2023年第2四半期末までに2,360万に達し、前四半期比で560万増加した。ステーキングされたETHの合計は、220万がステーキングされた2023年第1四半期と比較して、より速いペースで増加した。

これは、シャペラ後に出金が可能になったことで、保有者がETHのステーキングにさらに自信を持ったことこの明確なサインである。

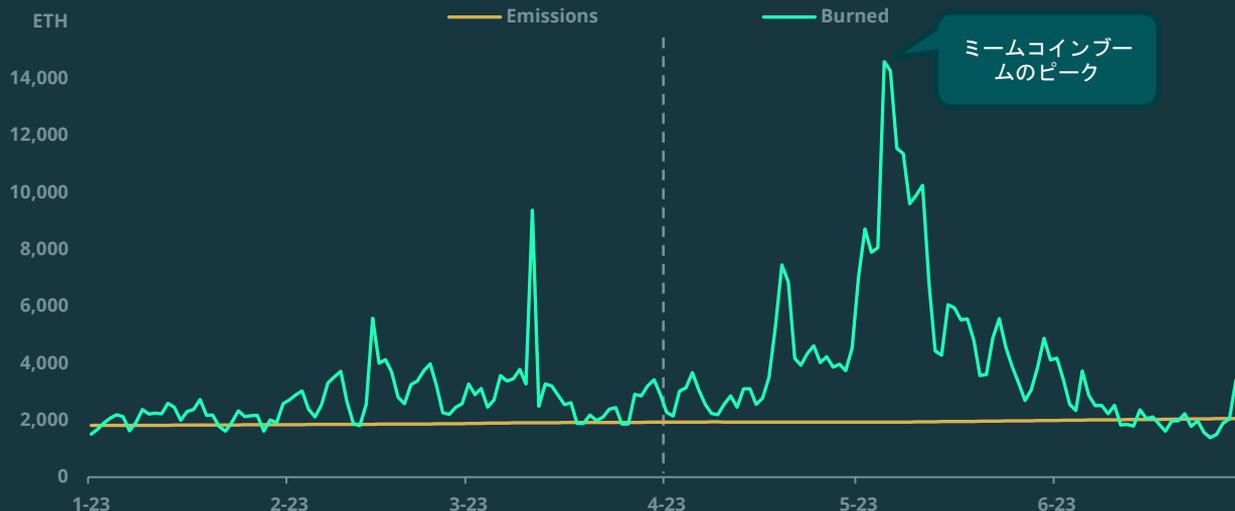
Lidoは引き続き支配的なステーキングプロバイダーであり、ステーキングされたETH全体の31.9%を占め、第1四半期の31.4%からわずかに増加した。

クラークはSECとの和解を受けて米国でのステーキング商品を縮小させたため、ステーキングETHが36.2%下落した。

2023年第2四半期のイーサリアムバーンレート

ETHは主に5月中旬のミームコインブームが理由で、バーンがエミッションを超過し、それは史上2回目であった。イーサリアムは、2023年第2四半期には、ネットで203,000 ETHのバーンを経験した。

ETHのバーン及びエミッションレート(2023年1月-6月)



381,000

2023年第2四半期に
バーンされたETH

2023年の第2四半期には381,000を超えるETHがバーンされ、179,000が排出された。結果、同四半期には203,000ETHが流通から除外され、これはネットのATHを記録した。

この四半期のバーンはほとんど5月に発生しました。1日で最大のバーンは5月5日に発生し、ミームコインブームのピーク時に14,600ETHがバーンした。

特に、5月5日から11日までの週に81,553ETHがバーンされ、これは第2四半期にバーンされたETHの21.4%に相当する。

Uniswapは第2四半期に97,500ETHをバーンして、引き続き一番シェアが高い。

一方、NFTマーケットプレイスであるBlurとOpenSeaはXENとMetaMaskに競り負けた。これは、NFTの取引高の低迷と一致している。

第2四半期トップ6バーンリーダーボード



1
Uniswap
97.5k ETH



2
ETH Transfers
23.7k ETH



3
USDT
15.6k ETH



4
XEN Projects
10.0k ETH



5
Arbitrum
9.9k ETH

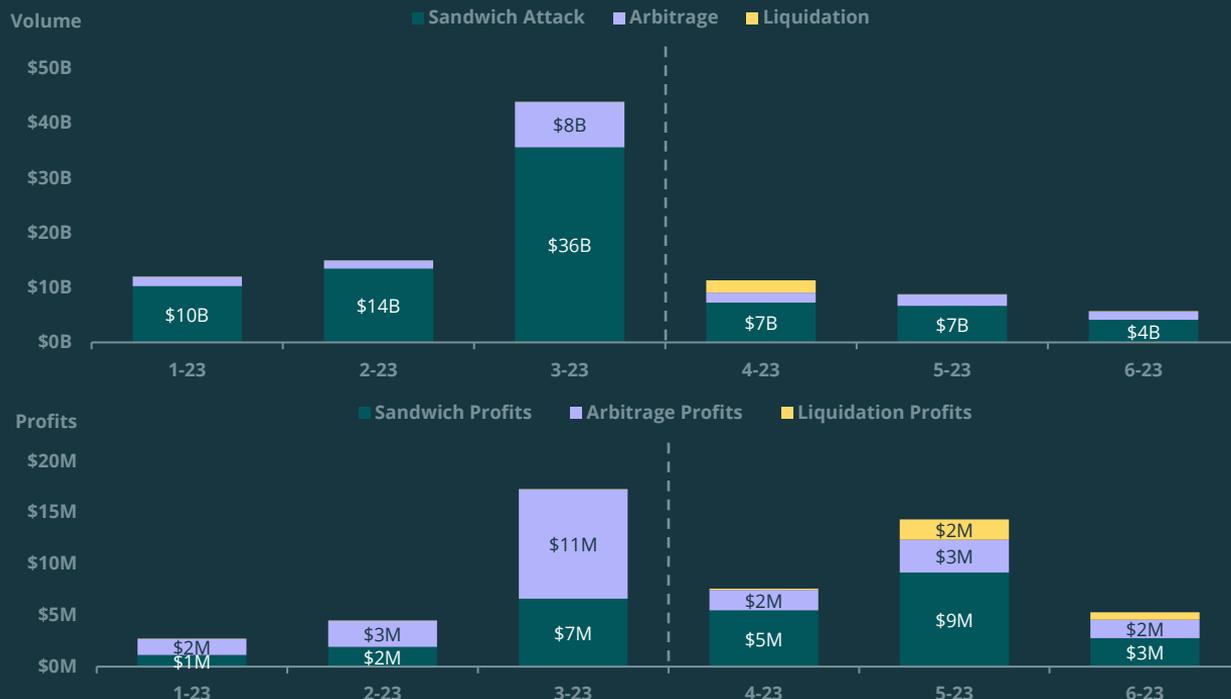


6
MetaMask
8.9k ETH

2023年第2四半期の最大抽出可能価値 (MEV)

MEVの取引高は87%減少しましたが、2023年第2四半期のMEVボットの利益は依然として11%増加し、その大部分がサンドイッチアタッカーの元に渡っている。

MEVの月間取引高と利益 (2023年1月~6月)



\$27.2M

2023年第2四半期にMEV取引によって生み出された利益

2023年第2四半期にDEXの取引高が大幅に減少したため、MEVボットの活動も著しく低下し、MEVの取引高は2023年3月の440億ドルから2023年6月の60億ドルまで87.0%減少した。

それにもかかわらず、MEVサーチャーの同四半期の収益は2,450万ドルから2,720万ドルへと11.0%増加した。MEVボットは、最近のミームコインブームの最盛期である5月に、第2四半期で最も収益性の高い月を達成した。

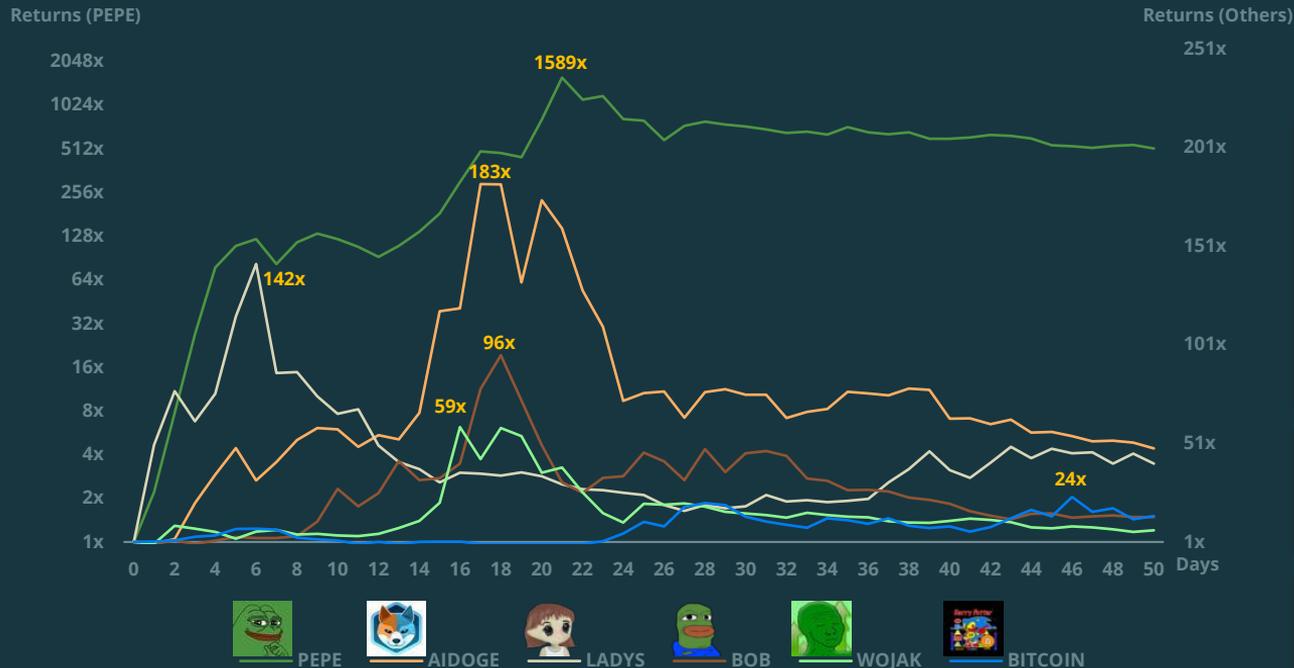
サンドイッチアタックは依然としてMEVの最もアクティブな形態ですが、四半期の取引高は590億ドルから180億ドルへと69.4%減少した。

それでも、サンドイッチアタッカーは2023年第2四半期に利益を80.1%増加させた。言い換えれば、サンドイッチボットは「アタック」ごとに平均してより多くの利益を上げている。

2023年5月のミームコインブーム

2023年5月のミームコインブームにより、PEPEと、ビットコインのBRC-20トークンを含む新しいミームコインが誕生

2023年5月のMemecoin ブーム価格のリターン



1813x

PEPEからのピークリターン**

2023年第2四半期にミームコインブームが到来し、トレーダーの注目を集めた。PEPEが最有力候補として浮上り、初期投資家にピーク時に約1813倍**のリターンをもたらした。その「魅力」は、カエルのPEPEをイメージとして使用していることにある。

Binance上場の発表後、ピーク時にはPEPEの時価総額は18億ドルに達した。しかし、実際の上場後に価格は下落した。

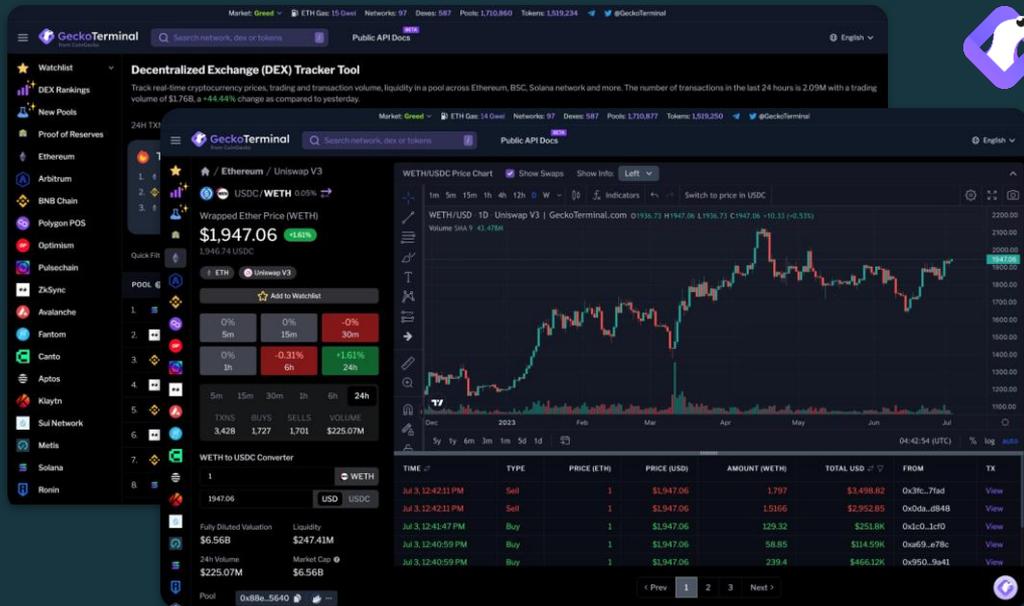
AIDOGEはリターンの観点で2位となり、ピーク時には最大235倍**のリターンを記録しました。AIDOGEはArbitrumでローンチすることで差別化され、ARBエアドロップの対象者にトークンが配布された。

Bitcoin Ordinalsを通じたBRC-20トークンの導入により、memecoinがビットコインネットワークに導入され、2023年5月の取引高が急増した。\$ORDIが最も人気のあるものとして浮上り、ピーク時価総額は6億ドルに達した。

出典: Geckoterminal *リターンの比較は、時価総額が最初に100万ドルに達した後のコインのパフォーマンスに基づいています。その時点でのトークンの価格は、リターンを計算するためのベンチマークとして使用されます。0日目は、トークンの時価総額が最初に100万ドルに達した日を表します。**ピークリターンは日中の高値に基づいて計算されます。チャート上の価格リターンは毎日の終値に基づいて計算されており、ピーク価格とは一致しません。

GeckoTerminal

DEX とリアルタイムの暗号通貨価格をトラックします



from CoinGecko 

以下をトラックすることが可能です:

- 100のブロックチェーンネットワーク
- 600以上のDEX
- 170万以上のプール
- 150万以上のトークン

GeckoTerminal を使用して、分散型取引所 (DEX) と DeFi 分野で次の大きなチャンスを見つけてください 

注目ポイント:

 **トレンドプールページから最新の暗号通貨トレンドを探索可能**

 **DEX ランキングを使用して、すべてのネットワークの DEX を比較可能**

 **ビルダー向けに Gecko Terminal API を提供**

今最もホットなトークンを見つけましょう!

GeckoTerminalの最新情報をお忘れなく!:

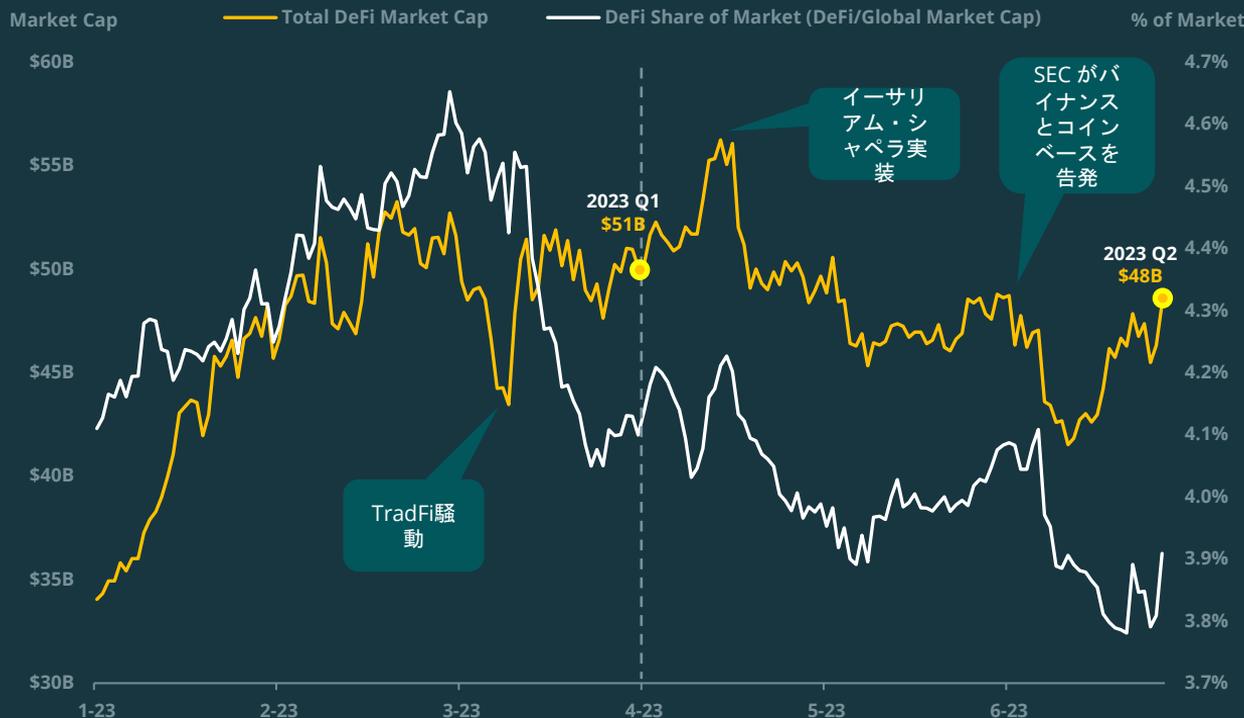


DEFI ANALYSIS

2023年第2四半期DeFiの概要

DeFiセクターでは、イーサリアムのシャペラアップグレード後、時価総額が一時的に上昇したが、それ以降は下り坂のみで、6月末に若干の反発を見せた

DeFi時価総額と市場全体に占めるDeFiシェア（2023年1月～6月）



-5.2%

2023年第2四半期のDeFi時価総額の減少率

DeFiの時価総額は2023年第1四半期の510億ドルから2023年第2四半期には480億ドルへと5.2%わずかに減少したものの、それでも暗号通貨市場全体を下回り、市場シェアは縮小した。

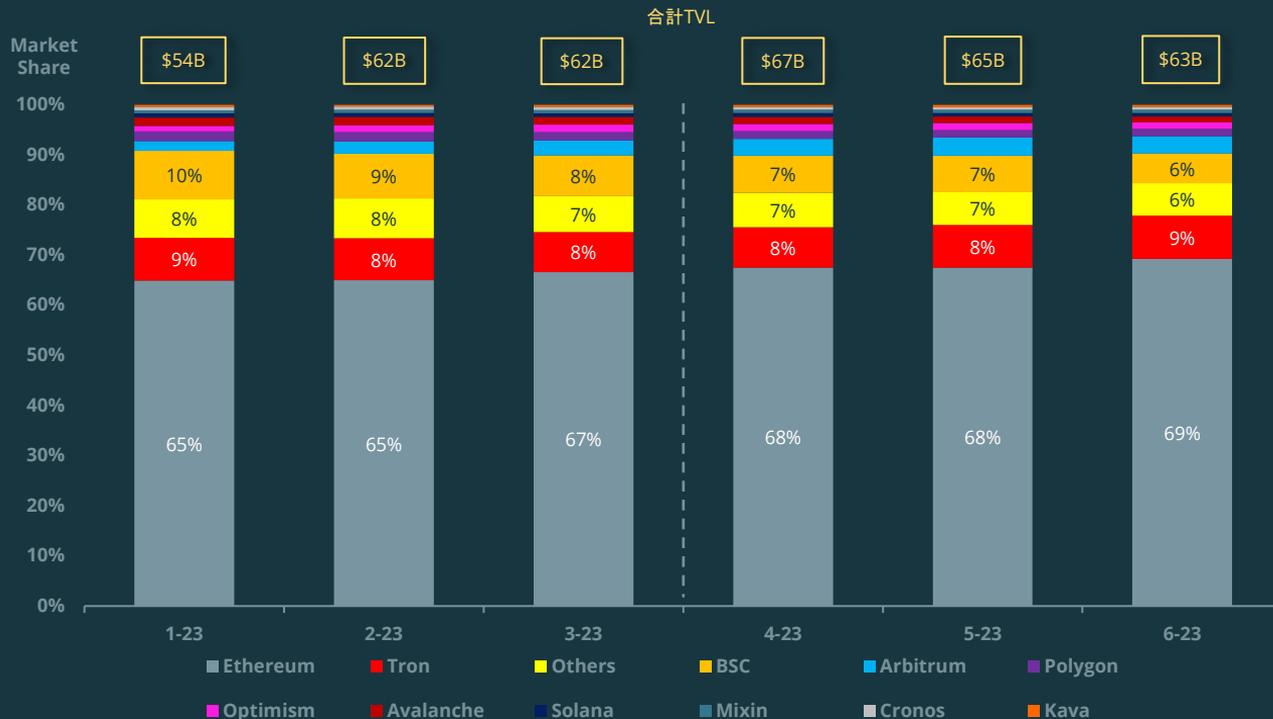
4月のShapellaアップグレードの成功により、DeFiの時価総額は同四半期最高の560億ドルに達したが、DeFiの市場シェアは4.0%から4.2%へのわずかな増加にとどまった。

6月にSECがバイナンスとコインベースを告発した後、DeFiの時価総額は目覚ましい回復を見せ、6月15日の420億ドルから6月末には480億ドルへと16.4%回復した。一方、残りの暗号通貨市場も上昇したため、DeFiの市場シェアはさらに低下し、3.9%を下回った。

2023年第2四半期のDeFiマルチチェーン市場シェア

イーサリアムは市場シェアを拡大し続け、現在マルチチェーンTVLの70%近くを占有する一方、BSCが下落する中、Tronが第2位に浮上した

マルチチェーントータルバリューロック (TVL) 内訳 (2023年1月~6月)



+1.9%

2023年第2四半期の
マルチチェーンDeFi TVL増加率

Shapellaアップグレード後にステークされたETHが大量に引き出されるのではないかと懸念にもかかわらず、それどころか、イーサリアムの市場シェアは上がり続け、2023年第2四半期にはTVLシェアを67%から69%に上昇させ、さらに16億ドルが増加した。

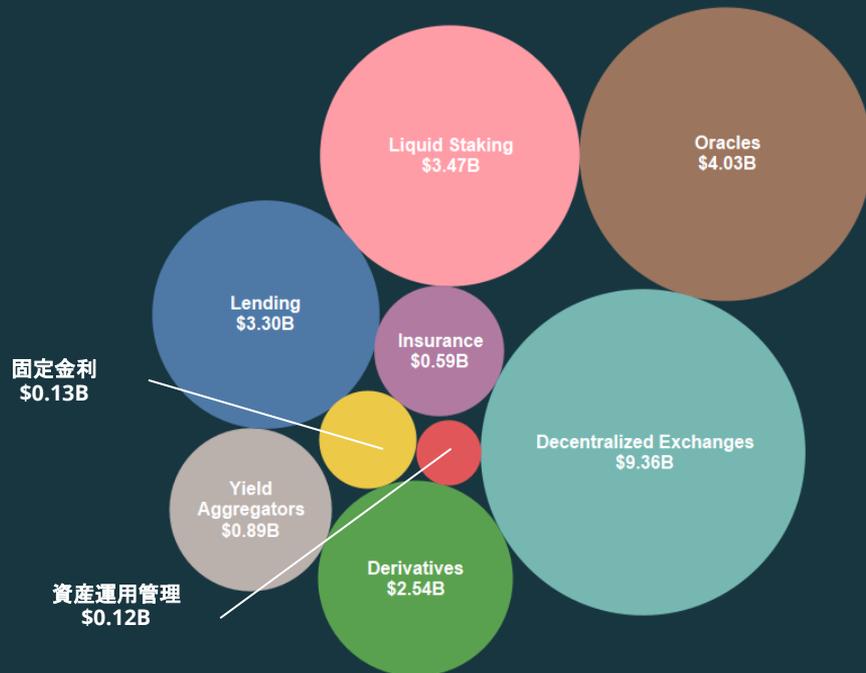
2022年、TronはBNBスマートチェーン(BSC)と2位争いを繰り広げ、BSCからの純流出によりTVLでは前者がさらに引き離れた。Tronは2023年第2四半期にTVLを54億ドルから57億ドルに6.8%増加させたが、BSCのTVLは同期間に50億ドルから35億ドルに30.9%減少した。

また、zkSync Era や Polygon zkEVM などのゼロナレッジ ロールアップのTVLが急激に上昇した。エアドロップハンターの次の潜在的なターゲットとして、zkSync EraのTVLは3月31日の2,700万ドルから6月末には1億8,000万ドルに増加した。

2023年第2四半期のDeFiエコシステムの概要

全体的な DeFi の時価総額は 52 億ドル (-17.6%) 減少したが、リキッドステーキング、ガバナンストークンとレンディングトークンは他の DeFi セグメントと比較して市場シェアを拡大した。

各 DeFi カテゴリの時価総額* (2023 年第 2 四半期)



Relative Market Share	Sector	QoQ % Change
	DeFi Tokens Market Cap	-17.6%
▼ 38.3%	DEXs	-20.4%
▼ 16.5%	Oracles	-19.4%
▲ 14.2%	Liquid Staking	-17.4%
▲ 13.5%	Lending	-2.1%
▼ 10.4%	Derivatives	-20.5%
▼ 3.7%	Yield Aggregators	-23.0%
▲ 2.4%	Insurance	-11.9%
▲ 0.5%	Fixed Interest	19.6%
▼ 0.5%	Asset Management	-34.5%

2023年第1四半期に+65.2%増加した後、全体のDeFi時価総額は17.6%減少し、2023年第2四半期には296億ドルから244億ドルへと52億ドル減少した。資産管理プロトコルがパーセンテージで最も減少し、1億8,100万ドルから1億1,800万ドルへと34.5%急落した。

イーサリアム・シャペラのアップグレードにより、ステーキングされたETHの引き出しが可能になったが、リキッド・ステーキング・プロトコルも強化され、現在のDeFi環境におけるその地位を強化した。リキッドステーキングプロトコルは時価総額の17.4%を42億ドルから37億ドルに失ったにもかかわらず、このセグメントは2023年第1四半期と比較して市場シェアを拡大した。

2023年第2四半期で唯一上昇したのは固定金利プロトコルで、主にPendleの人気により1億1,000万ドルから1億3,100万ドルへと19.6%増加した。Pendleの成功は、DeFiにおけるLSDFiセグメントの創設にも貢献した(スライド27を参照)。

*時価総額にはガバナンストークンとユーティリティトークンのみが含まれます (ステーブルコインとラップトークンを除く)
出典: CoinGecko

リキッドステーキングデリバティブをめぐる注目により、この新しいコアプリミティブ上にプロトコルを構築することが可能になり、その結果「LSDFi」として知られる新しいDeFiセグメントが誕生した



Pendle

固定利回り

- Pendle や Flashstake などの固定金利プロトコルは、流動的なステーキングトークンからステーキング利回りを分離し、ユーザーが現在のレートで利回りをヘッジできるようにする。
- Pendle を使用すると、ユーザーは割引価格で ETH を購入し、選択した満期日に定額の ETH を受け取ることができる。
- Flashstake を使用すると、ユーザーは選択した期間の間自分の ETH または LSD をロックして、選択したさまざまな資産からイーサリアムトークンを受け取ることができる。



Flashstake



EigenLayer

リストレーキング

- EigenLayer は、ユーザーが LSD を再利用してネットワーク上の他の dApp にセキュリティを提供し、その過程で追加の報酬を獲得できるリストレーキングの概念を導入した。
- Tenet はこの概念を拡張し、独自のレイヤー 1 ネットワークを保護するための担保として LSD を利用する。保有者は、既存の LSD をネットワークのバリデーターに賭けるだけでなく、ネットワークのプロトコルのエコシステムから手数料や報酬を得ることができる。



Tenet



Lybra



Gravita



Raft

担保付きステーブルコイン

- MakerDAO の Maker Vault と同様に、Lybra、Gravita、Raft などのプロトコルでは、ユーザーがプロトコルのネイティブステーブルコインを借りたりミントするための担保として LSD を預けることができる。
- これらのプロトコルは通常、安定性プールや償還などの他のステーブルコインのメカニズムとともに、担保比率を 150% 以上に維持する。
- Lybra は、基礎となる LSD から生成された利回りをステーブルコイン保有者に分配し、利回りを伴うステーブルコインを作成する。



unshETH



LSDx



Asymmetry Finance

LSD インデックス

- LSD インデックスはステーキング資産の多様なバスケットを提供し、保有者が単一のトークンを通じてさまざまな LSD プロトコルからのさまざまな利回りを得ることができるようにする。
- インデックストークンは、ETH または基礎となる LSD を使用してミントできます。Asymmetry Finance では、入金された ETH はサポートされている LSD プロトコル間で分離される。
- これらの多様な資産バスケットは、ユーザーが異なる LSD 間で交換できる流動性プールとしても機能する。

2023年第2四半期のクロスチェーンブリッジの流動性

新しいネットワークのローンチとエアドロップの噂により、ブリッジのTVLは4.4%上昇した。

流動性の高いブリッジトップ12 (2023年7月1日現在)

ブリッジ	2023年第2四半期	2023年第1四半期	前四半期比の変化率 (%)
WBTC 	\$4.8B	\$4.3B	▲ 12.9%
JustCryptos 	\$3.6B	\$3.3B	▲ 8.1%
Multichain 	\$1.3B	\$1.5B	▼ 10.4%
Stargate 	\$402M	\$369M	▲ 9.0%
Portal 	\$371M	\$281M	▲ 31.2%
hBTC 	\$272M	\$253M	▲ 7.5%
Poly Network 	\$272M	\$338M	▼ 19.4%
Synapse 	\$179M	\$188M	▼ 5.1%
Orbit Bridge 	\$125M	\$187M	▼ 33.1%
Celer cBridge 	\$110M	\$142M	▼ 22.6%
Thorchain 	\$93M	\$118M	▼ 21.0%
Axelar 	\$87M	\$89M	▼ 2.8%

\$11.61B

(+4.4%)

2023年7月1日時点のクロスチェーンブリッジの流動性

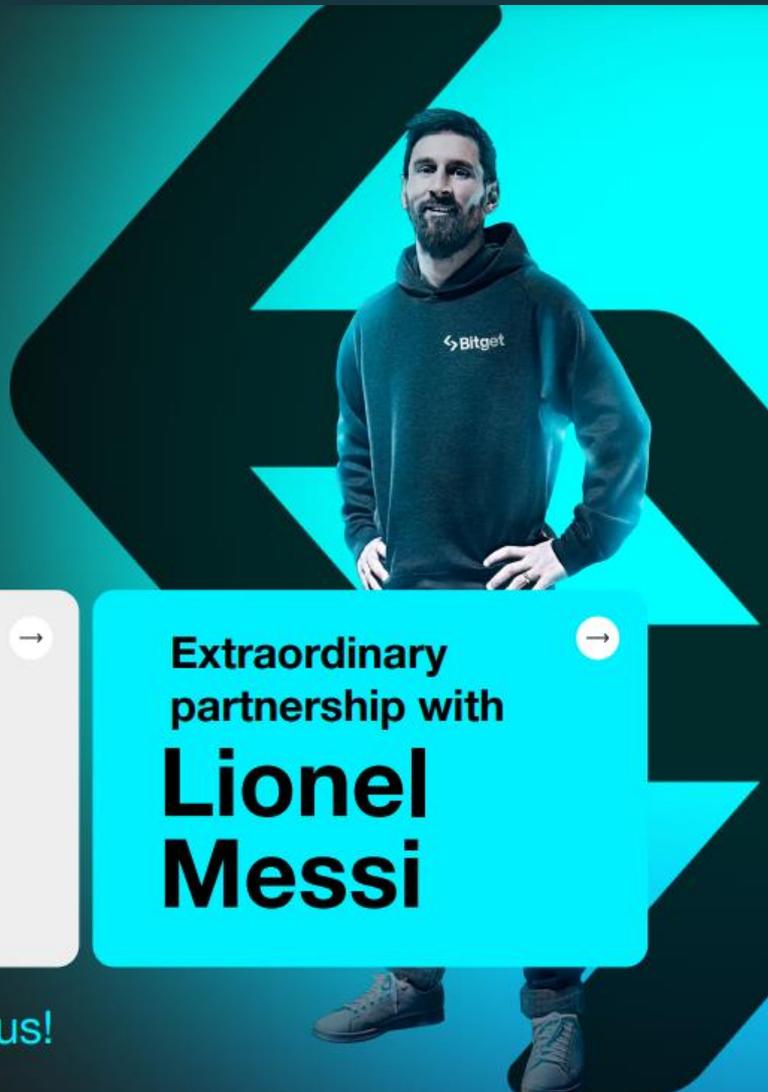
上位3つのクロスチェーンブリッジは2023年第2四半期もほとんど変わらず、ビットコインの6.9%の価格上昇と一致して、WBTCは純流入を経験している。しかし、これらの資金流入のほとんどは、SECがBinanceとCoinbaseを訴訟した直後の6月15日以降にのみ発生した。一方、MultichainはTVLの10.4%を失い、15億ドルから13億ドルに減少した。「不測の事態」により6月にクロスチェーンアクティビティを停止した後、まだ完全には回復していない。

WormholeのPortal token bridgeは2023年第2四半期に最も流動性を高めたプロトコルで、流動性は2億8100万ドルから3億7100万ドルへと31.2%急増した。PortalのTVLの台頭は、5月にSuiメインネットが開始されたことが主な貢献であり、Suiメインネットが公式のブリッジとなっている。StargateではTVLが3億6,900万ドルから4億200万ドルへと9%増加した。これはおそらく、LayerZeroのガバナンストークンであるZROのエアドロップが差し迫っているという噂の影響によるものと思われる。歴史的に、クロスチェーンプロトコルに流動性を提供することが、エアドロップの適格性を決定する基準となってきた。

トップ12に入ったAxelarは、8,900万ドルから8,700万ドルへと2.8%わずかに下落した。他のクロスチェーンプロトコルと比較して、AxelarはCosmosエコシステムにより多くのブリッジソリューションを提供し、Juno、Kava、Kijiraなどのネットワークをサポートする。



Established in 2018, Bitget serves over 8 million users in more than 100 countries and regions.



Top 5

futures trading platform



#1

The world's largest copy trading platform



Extraordinary partnership with

Lionel Messi



Visit bitget.com to claim 1,000 USDT welcome bonus!

非代替性トークン (NFTs)

2023年第2四半期、上位8チェーンのNFT取引高

Bitcoin Ordinalsが急速に人気を博したにもかかわらず、第2四半期のNFT取引高は第1四半期と比較して35.0%減少。一方、Solana NFT取引高は大幅に減少

NFT取引高トップ8チェーン (2023年1月~6月)



-35.0%

2023年第2四半期の
取引高の減少率

NFT取引高は、2023年第1四半期の48億4000万ドルから2023年第2四半期の31億5000万ドルまで35.0%減少した。

イーサリアムは第2四半期のNFT市場で83.0%のシェアを維持しましたが、Bitcoin Ordinalsの人気が高まり、NFT取引高のほぼ20.3%を獲得したため、そのシェアは2023年5月に一時的に73.3%に低下した。

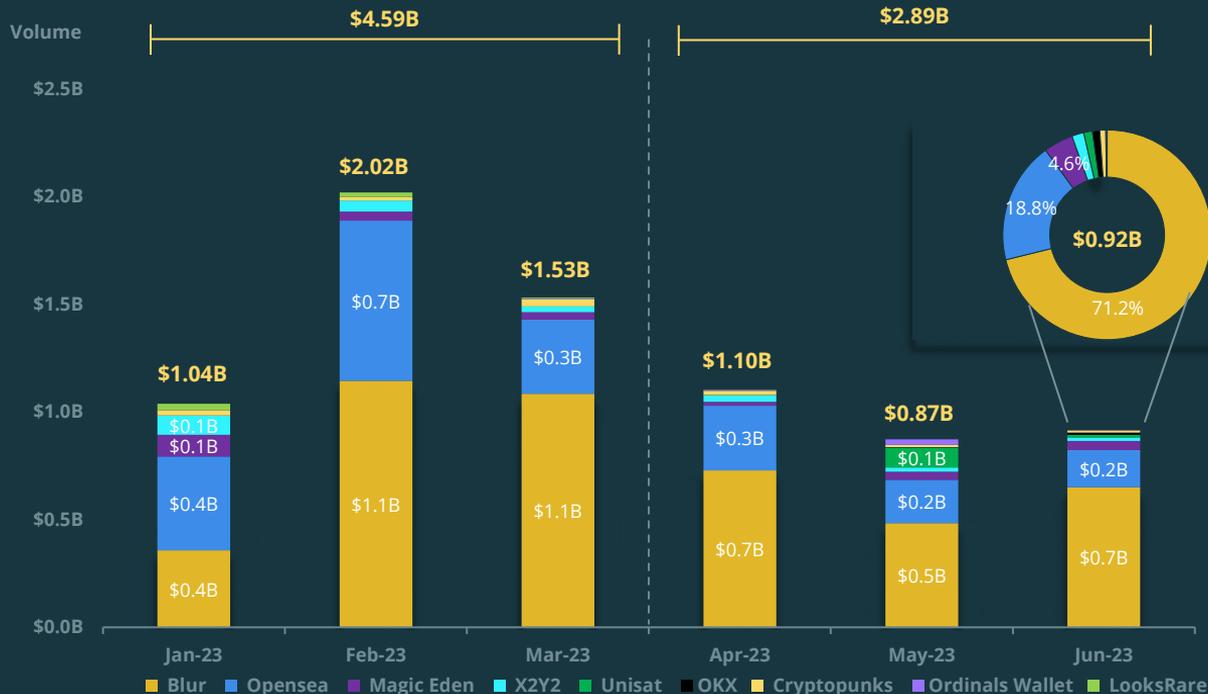
対照的に、Solana NFTの取引高は78.6%の大幅な減少を経験し、第1四半期の1億8,491万ドルから第2四半期には3,966万ドルに減少した。減少の一部は、Solanaの販売量に大きく貢献した DeGods と y00ts の移行に起因する可能性がある。

移行後、y00ts は、Polygon で取引される NFT コレクションの歴代売上高トップ 10 の 1 つになった。

2023年第2四半期のNFTプラットフォーム取引高

Blurは支配的なNFTマーケットプレイスとしての地位を維持し、2023年6月には取引高の71.2%を支配

NFTマーケットプレイス トップ9 (2023年1月~6月)



-37.0%

2023年第2四半期のNFTマーケットプレイスの取引高は減少

第2四半期、Blurは、NFT向けのレンディングプラットフォームであるBlendの導入とBLURトークン報酬の約束により、主要なNFT市場としての地位を維持した。取引高に占める同社のシェアは、2023年第1四半期の56%から2023年第2四半期には65%に増加した。一方、Openseaのシェアは低下を続け、2023年第1四半期の33%から2023年第2四半期には23%に低下した。

Bitcoin Ordinalsの出現により、UniSat、OKX、Ordinals Wallet など、同NFTをサポートする新しい NFT マーケットプレイスも生まれた。このハイプの中、UnisatとOKXは 6 月にそれぞれ5番目と6番目に大きなマーケットプレイスとなり、より古参なプレイヤーであるCryptoPunksLooksRare を引き離れた。

以前はSolanaに重点を置いていたMagic Edenも、市場シェアを取り戻すためにBitcoin Ordinalsのサポートを追加した。

出典: FootPrint Analytics、Dune (@domo)

*OpenSea ボリュームには Ethereum、Polygon、Solana が含まれます。Magic Eden のボリュームには、Solana、Ethereum、Bitcoin が含まれます *** Blur、LooksRare、および X2Y2 のウォッシュ取引は除外されます

2023年第2四半期の注目すべきNFTコレクション

NFT業界にとって波乱万丈の第2四半期だった。NFT価格はジェットコースターのように、ブルーチップが保有者の期待に反して崩壊しつつあるため、PFPに対するセンチメントは過去最低を記録した

Yuga Labs

- 2023年第2四半期にNFTコレクションのフロアプライスが下落傾向にあったことで、Yuga Labsは注目を浴びた。この下落の背後にある正確な理由は不明であり、Blur Pointを集めたいユーザーが、人為的な購入者を生み出し、その後フロアプライスを落としたことが原因であるのか、それともApeCoin DAOでの大規模なトレジャリーのバーンが重大な結果をもたらさずに起こったのかは、依然として不明である。
- フロアプライスが下落傾向にあるにもかかわらず、Yuga Labsは、Otherside: Legends of Mara や HV-MTL forge の導入など、第2四半期もゲームエコシステムの一部を展開し続けた。
- さらに、Meebitsをアップグレードし、静的なプロフィール写真 (PFP) から動的なプロフィール写真に変換した。



AZUKI

- AZUKIは、コミュニティが過去1年間でレジリエンスを示し、チャレンジを克服したため、著名なNFTコレクションとしての地位を確立した。
- ラスベガスでの「Follow the Rabbit」イベントの発表は、業界で大きな関心を引き起こした。このイベント中に、AZUKIは新しいコレクション「AZUKI ELEMENTALS」を発表した。このコレクションは大きな注目と需要を集め、2 ETH で 10 分以内に即売した。
- 販売は成功したにもかかわらず、公開された AZUKI ELEMENTALSのアートがコミュニティを失望させたため、AZUKI は反発に直面した。元のコレクションと似通っていたため、フロアプライスは当初のミント価格である 2 ETH を下回った。



Memeland

- Memeland は、収益性の高い Web2 企業である 9GAG が支援する珍しい NFT プロジェクトの 1 つであるため、NFT エコシステムで大きな注目を集めている。このプラットフォームには、「You The Real MVP」、「The Potatoz」、「The Capitalz」という 3 つの注目すべきコレクションがある。
- 2023 年第 2 四半期に、Memelandはいくつかのマイルストーンを達成した。彼らは最初の GM ショーの立ち上げに成功し、レイドのシーズン 0 とシーズン 1 の両方を紹介し、Captainz コレクションを公開した。
- しかし、NFTのペースモデルに類似性があり、NFTホルダーの好みに応じて特性をカスタマイズできることから、公開後にCaptainzのフロアプライスは暴落した。



Milady Maker

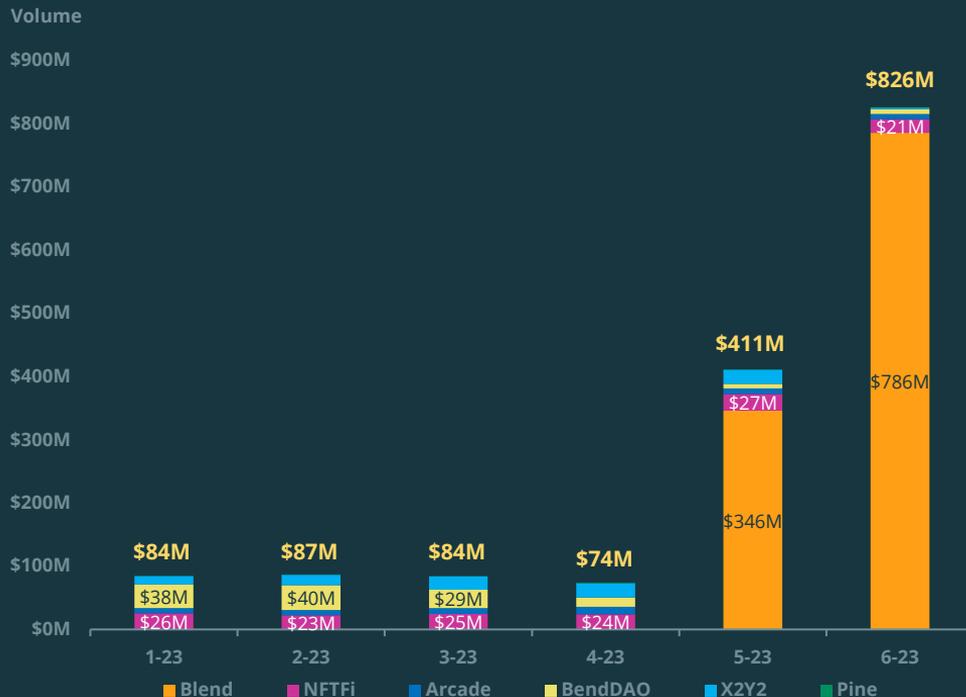
- Milady Makerは、4月の1.1 ETHから5月のピークの5.5 ETHまで価値が急上昇し、第2四半期の終わりには3.0 ETHにまで下落したため、NFT分野で大きな注目を集めた。
- 価格の急上昇は、BlurのBlendプラットフォームから、Milady Makerが5月1日のプラットフォーム立ち上げ時に、AZUKIとCryptopunksと並んで、同プラットフォームがサポートする3つの注目NFTコレクションの1つになると発表されたことでさらに拍車がかかった。
- イーロン・マスクが「There Is No Meme, I Love You」というキャプションとともにMilady NFTの写真をついとしたことで、Milady Makerの勢いはさらに加速した。



NFTレンディング

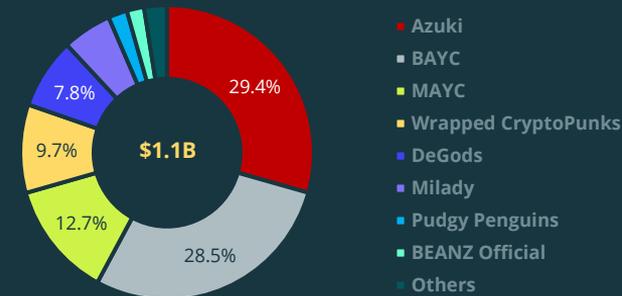
Blendのローンチにより、NFTの融資額は453%増加したが、一部の有名なコレクションは膨大な融資需要が原因で崩壊した

NFTレンディングプラットフォームの取引高トップ6（2023年1月～6月）



出典: Dune Analytics (@ahkek, @beetle)

Blendにおけるコレクション別ローン組成高



NFTエンディングプラットフォームは2023年初頭にすでに月間数百万ドルを記録していたが、Blur Lending (Blend) の立ち上げにより市場を席巻し、2023年5月にはNFT融資額が7,400万ドルから4億1,100万ドルへと453%増加した。Blendは、固定金利や永久ローンといった革新的な仕組みを特徴としていたが、その成功は、貸し手が将来BLURトークンをドロップするためにBlurポイントを獲得できるBlurのインセンティブモデルにも起因している。

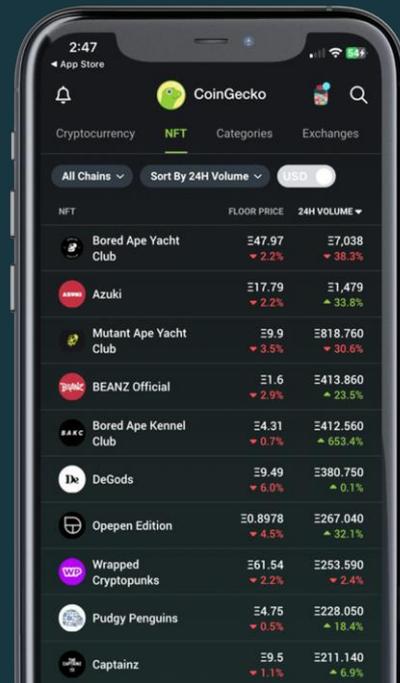
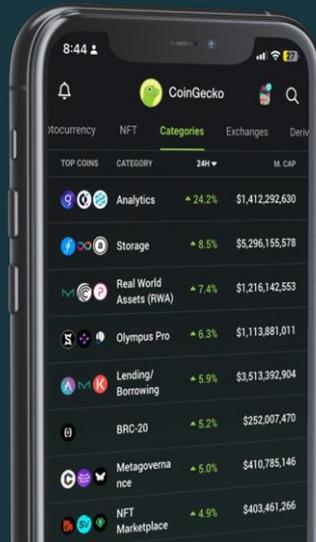
AZUKIと BAYC は、これまでの Blend の融資全体の 57.9% を占め、借入資金は 6 億 5,500 万ドルに相当する。皮肉なことに、“ブルーチップ”の地位にもかかわらず、AZUKIと BAYCのETHフロアプライスは2023年第2四半期にそれぞれ36.6%と41.9%急落し、両コレクション全体で317件の清算が行われた。

新しい機能ですべてをトラック
CoinGeckoモバイルアプリ

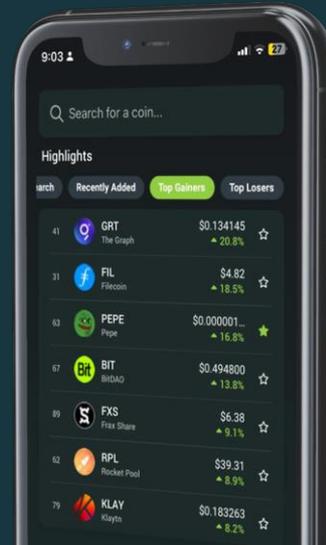


人気のNFT

100以上の
暗号通貨のカテゴリ



トレンドコイン



今すぐダウンロード

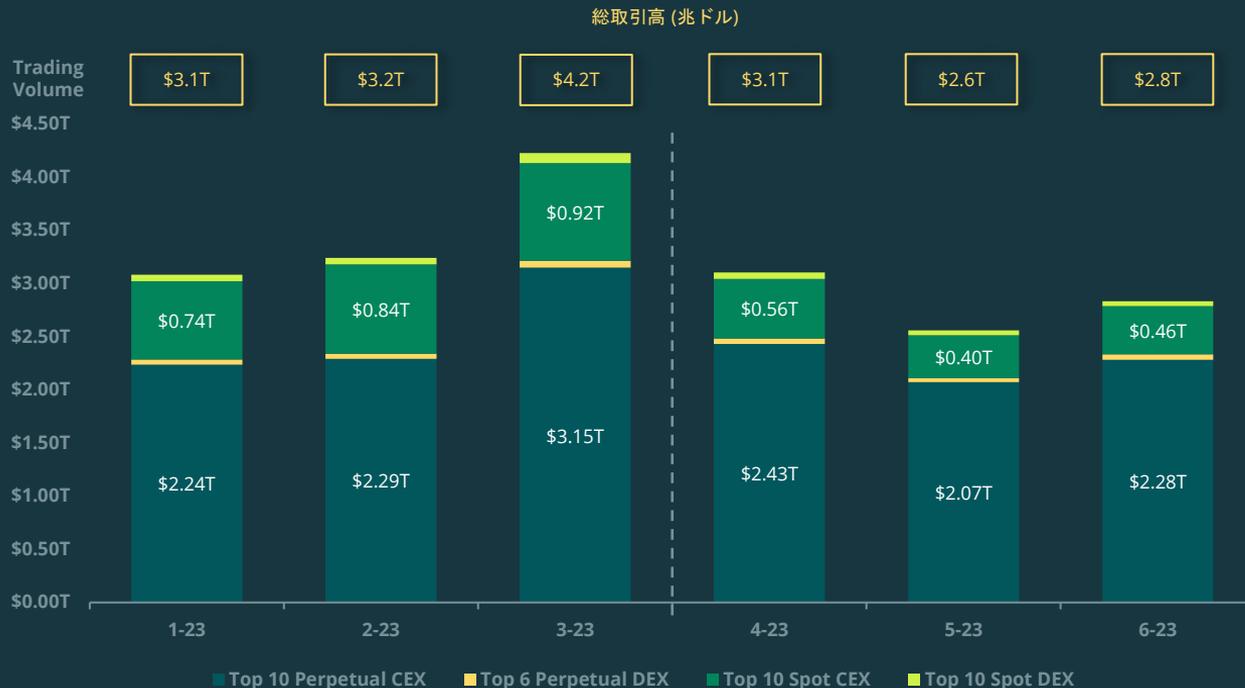


取引所

2023年第2四半期トップの暗号通貨取引所の取引高

取引高は2023年第1四半期から19.5%減少。損失の大部分はスポット市場由来で、特に CEX が深刻な打撃を受けている

上位の暗号通貨取引所の取引高 (2023年1月～6月)



-19.5%

2023年第2四半期の上位暗号通貨取引所の取引高減少率

トップクラスの暗号通貨取引所は、2023年第1四半期から2023年第2四半期にかけて総取引高が-19.5%減少した。第2四半期全体の総取引高は 8.5 兆ドルに達する。スポット DEX はスポット CEX よりも下落が少なく、パーペチュアル市場はスポット市場よりもよく持ちこたえた。

デリバティブの取引高は依然として総取引高の大部分を占めており、シェアは 77.3% だった。

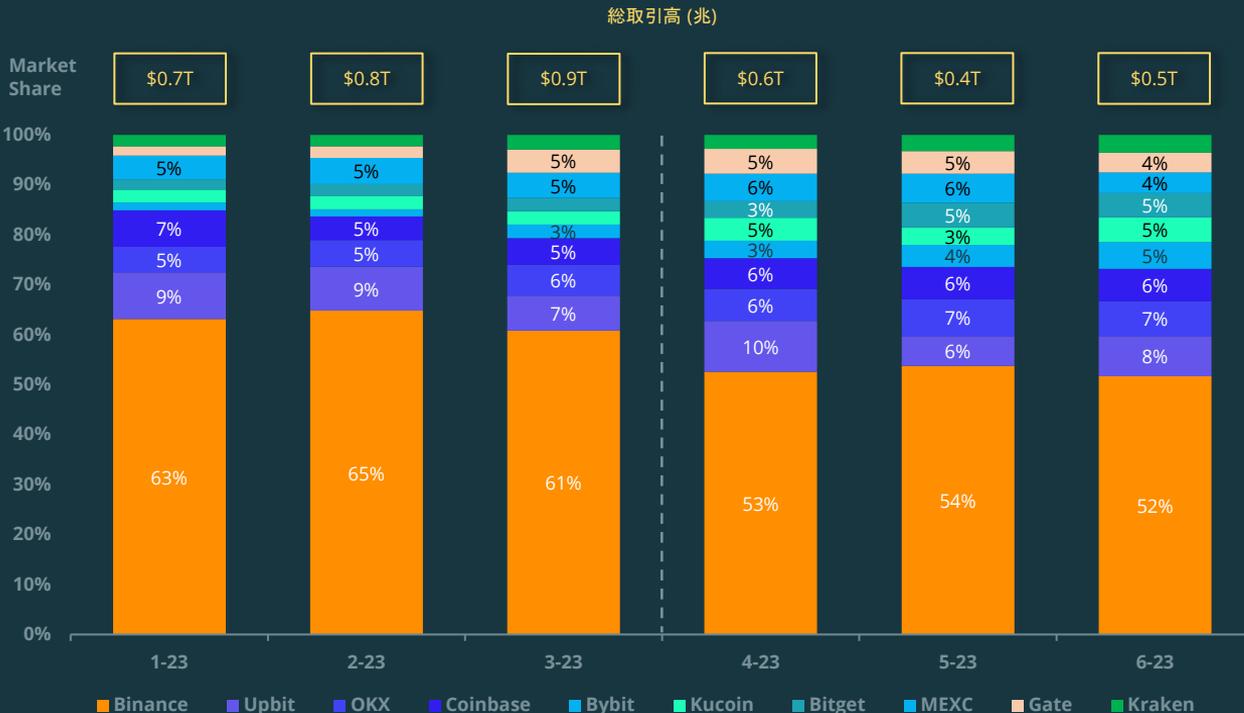
第2四半期のCEX：DEXスポット取引高比率は89.1%に低下した。CEX：DEXの比率が90%を下回ったのは2022年第2四半期以来のことである。

CEX：DEXのデリバティブ取引高比率は97.9%にとどまり、トレーダーは依然としてCEXでの取引を好んでいる。

2023年第2四半期スポット中央集権型取引所（CEX）取引高トップ10

Binance は、2023年6月時点でも 52.0% の市場シェアを獲得し、引き続き主要な CEX の座を維持したが、競合他社に市場シェアを徐々に奪われてる

スポット CEX 取引高トップ 10 の内訳（2023年1月～6月）



-43.2%

2023年第2四半期の
トップ 10 CEX 合計取引額減少率

上位 10 位の CEX は、2023 年第 2 四半期に 1.42 兆ドルのスポット取引高を記録した。第 1 四半期には回復の兆しが見られたにもかかわらず、前四半期比 43.2% 急減した。

規制当局からの圧力が高まる中、バイナンスはそのシェアが低下している。しかし、3月の 61% から低下したとはいえ、6 月時点で 52% のシェアを維持している

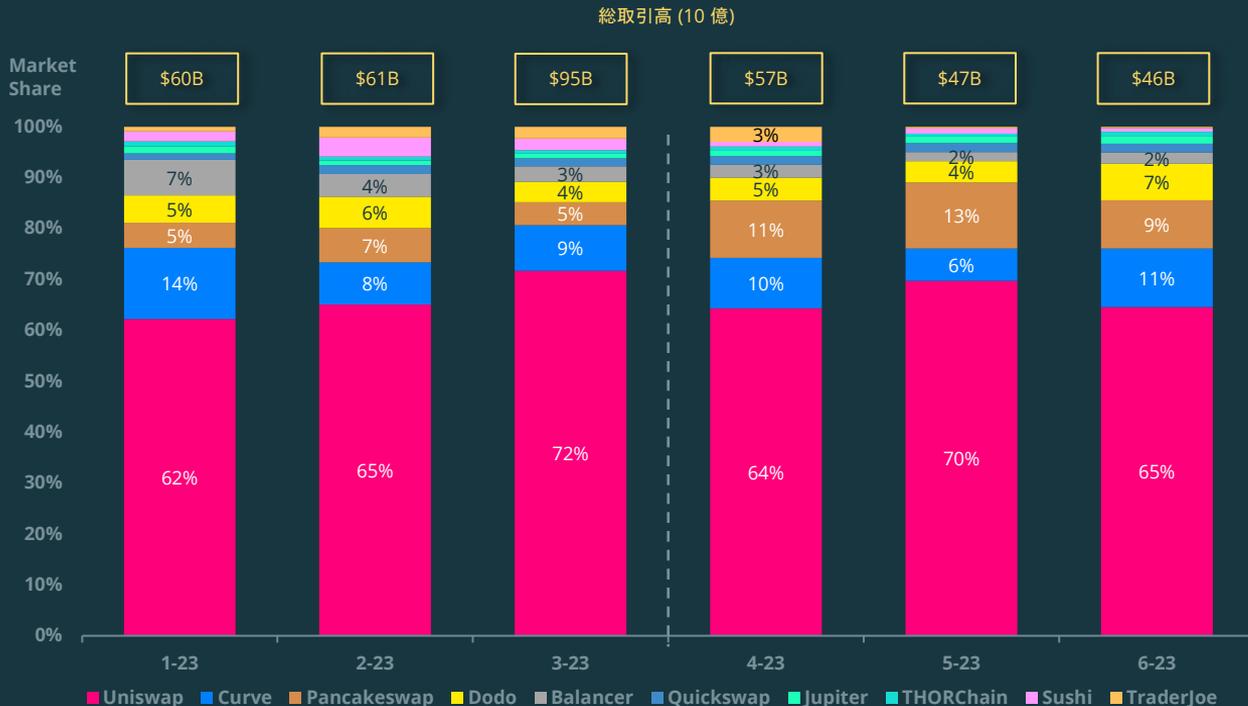
Huobi と Crypto.com がトップ 10 から外され、Bybit と Bitget が代わりにランクインした。

両取引所とも第 2 四半期の取引高はそれぞれ 131 億ドルと 15 億ドル増加しており、トップ 10 に入っている唯一の取引所で増加が見られた。

2023年第2四半期スポット分散型取引所（DEX）取引高トップ10

Uniswap がセクターに対する優位性を固めたため、2023年第2四半期のDEX取引高は-28.1%減少した。

スポットDEX取引高トップ10の内訳（2023年1月～6月）



-30.8%

2023年第2四半期の取引でトップ10 DEXの総量が減少

上位10社のDEXは、2023年第2四半期に総額1,550億ドルのスポット取引高を記録し、前四半期比30.8%減となった。

ミームコインのブーム真っ盛りにもかかわらず（大部分がDEXでローンチされた）、DEXの取引高は目立った増加はなかった。ただし、スポットCEXと比較して取引高の減少はそれほど見られなかった。

Curveは、crvUSDステーブルコインのリリースにもかかわらず、5月に取引高が急落し、6月の市場シェアを11%で終えた。

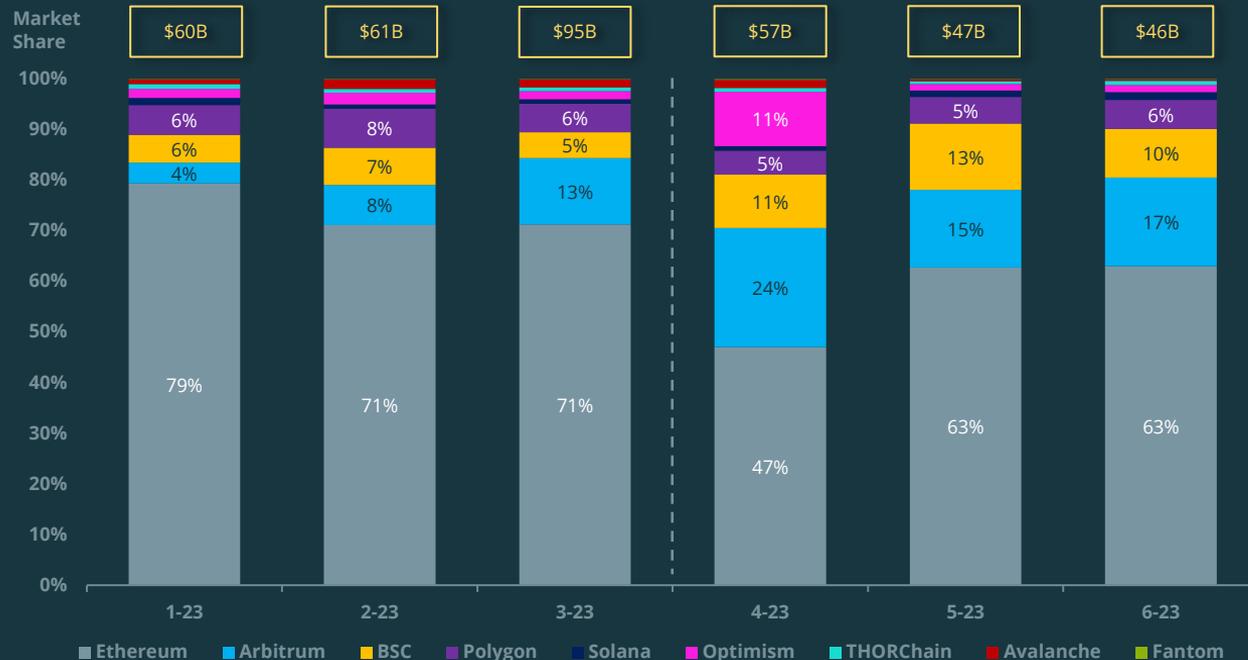
一方、2023年第1四半期にトップ10に食い込むことができたTrader Joeは、取引高が減少した。同取引所は市場シェアわずか0.3%で第2四半期を終えた。

2023年第2四半期スポットDEX取引高のチェーン別内訳

イーサリアムは引き続き DEX 取引で最も人気のあるチェーンであり、市場シェア 57% を占めてるが、減少傾向にある。

スポットDEX取引高のチェーン別内訳 (2023年1月～6月)

総取引高 (10 億ドル)



イーサリアムは2023年第2四半期のDEX取引高のうち878億ドルを獲得し、全チェーンの57%を占めた。これは、イーサリアムの取引高が1,588億ドル、市場シェアが74%だった2023年の第1四半期と比較すると、-44.7%の減少である。

市場シェアの点では、UniswapとTrader Joeのおかげで、ArbitrumがBSCを抑えてDEX取引高で第2位になった。

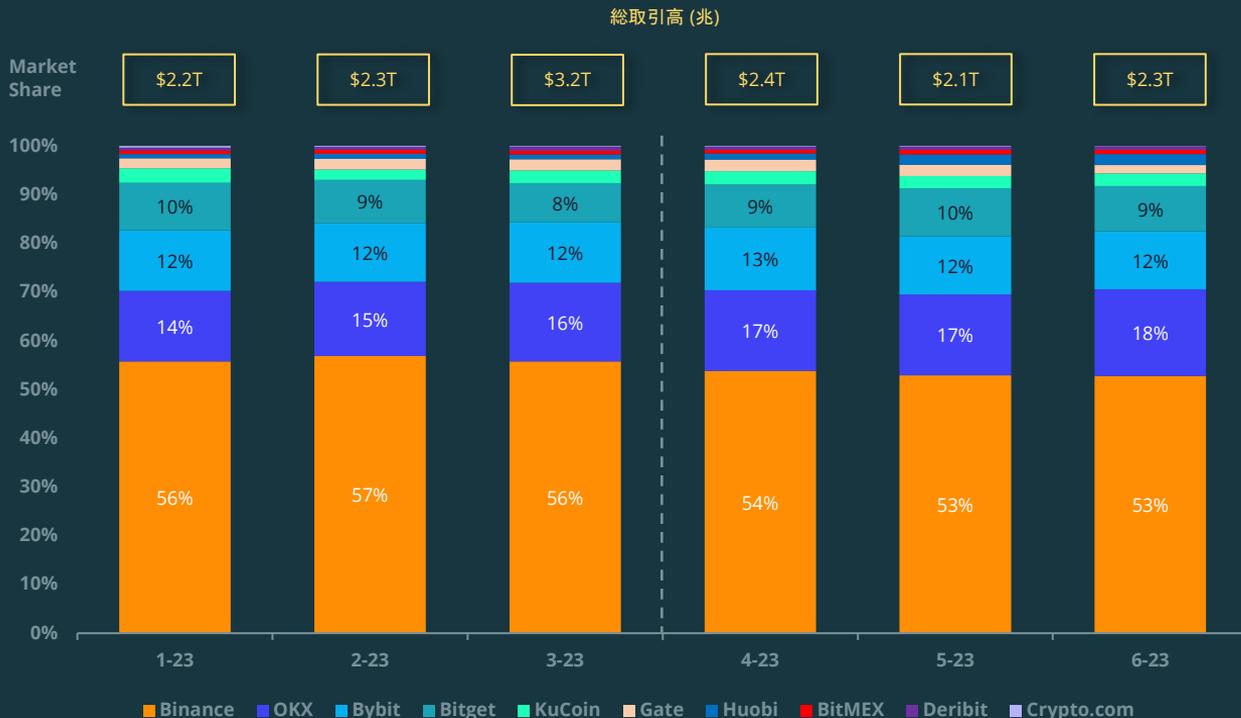
第1四半期に失速したBSCは、第2四半期に盛り返し、6月には10%の市場シェアを獲得し、第3位の地位を維持した。ただし、バイナンスに対してFUDが積み重なっているため、苦戦が続く可能性がある。

Polygonは常に4番目に高い取引高を誇り、市場シェアは約6.0%で、6月の時点で、トップ4チェーンが取引高の95%以上を支配している。

2023年第2四半期中央集権型パーペチュアル取引所の取引高トップ10

2023年第2四半期にトップ10の中央集権型パーペチュアル取引所の取引高はわずかに減少したが、取引所の相対的な市場シェアはほぼ同じままだった。

中央集権型パーペチュアル取引高トップ 10 (2023 年 1 月～6 月)



-11.6%

2023年第2四半期のトップ10の中央集権型パーペチュアル取引所の取引高減少率

2023年の第1四半期から第2四半期にかけて、トップ10の中央集権型パーペチュアル取引所の取引高は、7.7兆ドルから6.8兆ドルへと11.6%減少した。ただし、これは依然としてトップ10の中央集権型スポット取引所の4.5倍である。

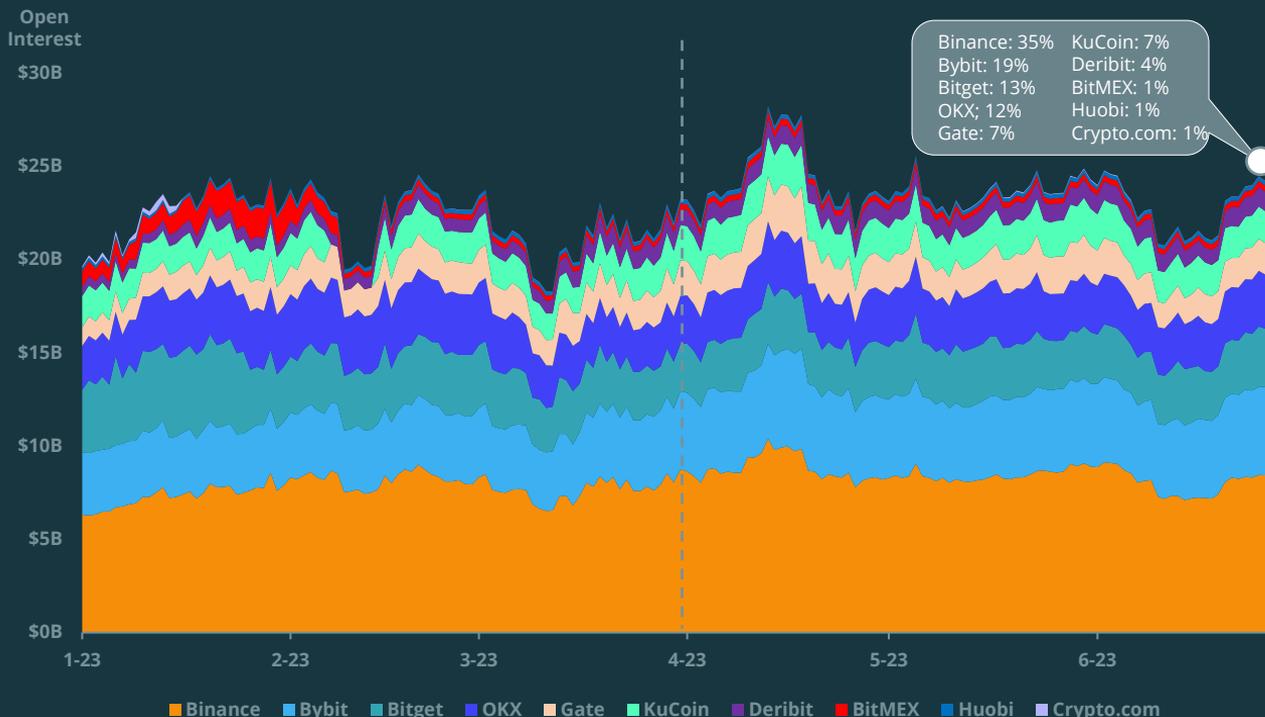
中央集権型パーペチュアル取引所間の取引高の相対シェアはトップ10全体でほぼ変わらず、Binance、OKX、Bybit、Bitgetがトップ4の座を占めている。

上位4つの取引所が合わせて取引高の90%以上を支配しています。Binanceは、単独で取引高の50%以上を占め、依然としてトップの中央集権型パーペチュアル取引所間です。

2023年第2四半期の中央集権型パーペチュアル取引所建玉トップ10

4月中旬の一時的な急増を除くと、トップ10の中央集権型パーペチュアル取引所全体の建玉は第2四半期にはわずかな増加にとどまった

中央集権型パーペチュアル取引所の建玉トップ10 (2023年1月~6月)



+5.1%

2023年4月1日から2023年6月30日までの
トップ10の中央集権型パーペチュアル
取引所の建玉増加率

イーサリアムがシャーペルを実装した4月中旬の一時的な急増を除けば、トップ10の中央集権型パーペチュアル取引所の建玉は、2023年第2四半期には232億ドルから244億ドル(+5.1%)への小幅な増加のみだった。

取引所間の建玉のシェアもほぼ変わらず、Binanceが依然として約35%でリードし、Bybitが約19%で続く。

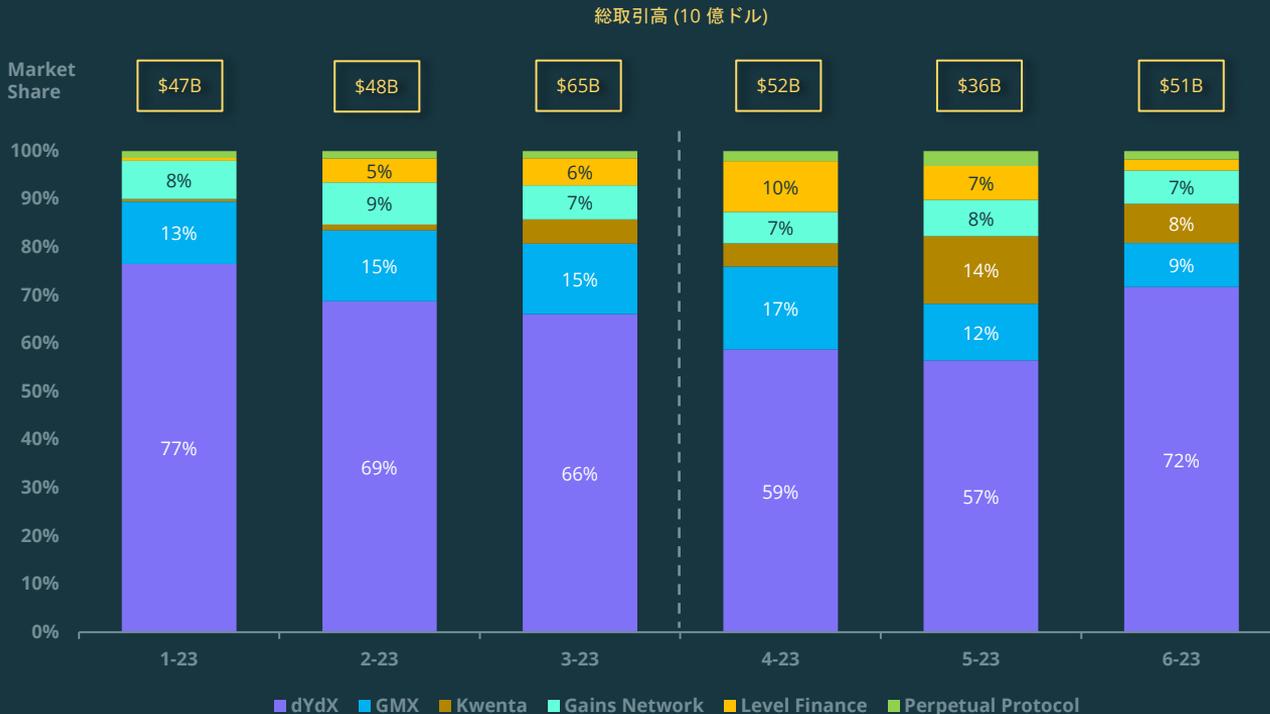
トップ4はOIの最大80%しか貢献していないにもかかわらず、ボリュームの90%以上を得た。その次の2つの取引所KuCoinとGateはそれぞれ建玉の最大7%に貢献していますが、取引高の最大2~3%しか得ていない。

中央集権型パーペチュアル取引所は、建玉の観点からは依然として分散型パーペチュアルプロトコルを凌駕しており、最大40倍ほど規模が大きい。

2023年第2四半期の分散型パーペチュアル取引所の取引高

分散型パーペチュアル取引所の取引高は204億ドル(-12.7%)減少しましたが、dYdXが市場シェアを取り戻す一方で、新しい取引所がGMXを追い越そうとしている

分散型パーペチュアル取引所の取引高トップ6 (2023年1月~6月)



-12.7%

2023年第2四半期における、
トップ6の分散型パーペチュアル
取引所の取引高の減少率

2023年第2四半期には、上位6つの分散型パーペチュアル取引所の取引高は1,397億ドルを記録し、2023年第1四半期の1,600億ドルから204億ドル減少した。中央集権型と比較すると、分散型パーペチュアル取引は、前者の取引高6兆8,000億ドルのうち2.1%にすぎない。

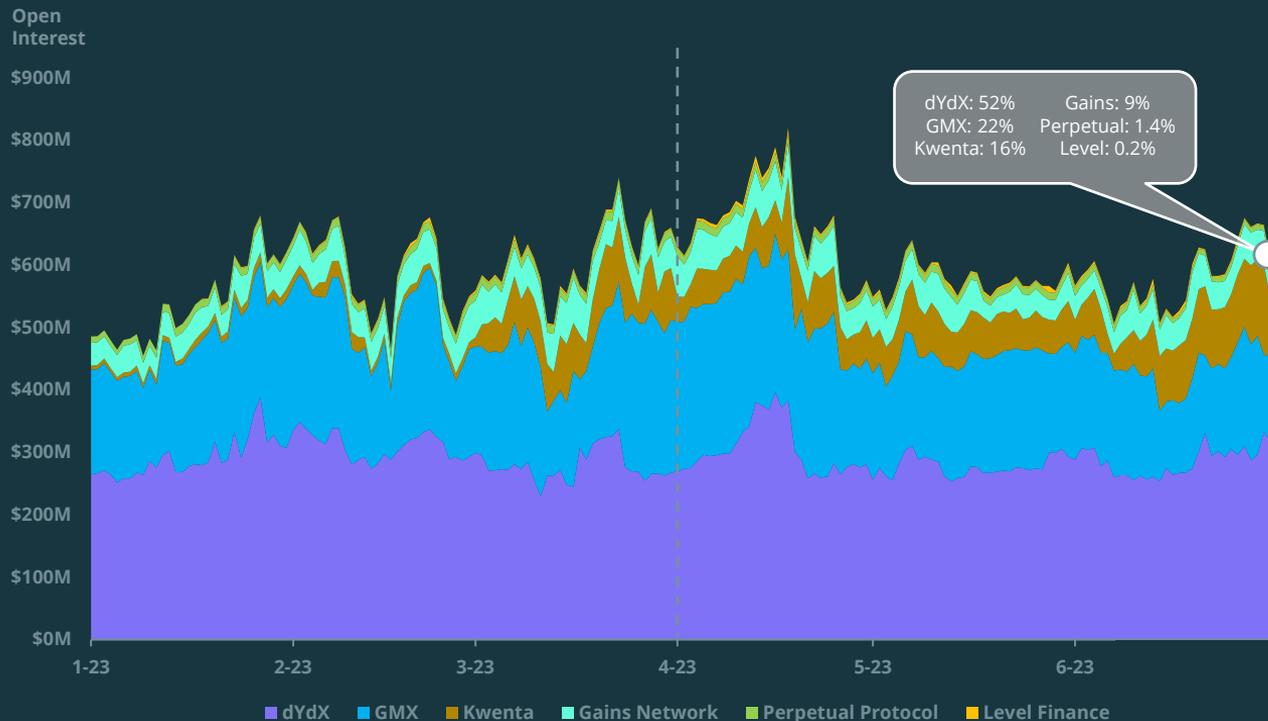
2023年第2四半期の後半に向けて分散型パーペチュアル取引の取引高が回復したため、dYdXは3月の66%から6月には72%までシェアの一部を取り戻した。

GMXはdYdXに対する最有力候補だったが、現在その地位はKwentaやGains Networkなどの新規参加者によって脅かされている。GMXは市場シェア9%でまだわずかにリードしているが、KwentaとGains Networkが他のオルトチェーン/ロールアップに拡大するにつれて追いつきつつあります。

2023年第2四半期の分散型パーペチュアル取引所の建玉

分散型パーペチュアル取引所の建玉は2023年第2四半期にわずか3.2%減少したが、dYdXは引き続きシェアを高めている

分散型パーペチュアル取引所の建玉トップ6 (2023年1月 - 2023年6月)



-3.2%

2023年4月1日から6月30日までの上位6つの分散型パーペチュアル取引所の建玉の減少率

上位6つの分散型パーペチュアル取引所の建玉総額は6億2,900万ドルから6億900万ドルへとわずかに減少した。これは、過去四半期のBTCとETHの価格変動にもかかわらず、オンチェーントレーダーが依然としてポジションを維持していることを示している。

dYdXは依然としてこれらのプロトコル間の建玉の大部分を支配しており、2023年第2四半期には市場シェアを43%から52%に増加させ、現在プラットフォーム上に3億1,700万ドルの建玉がある。

現在、トップ3の分散型パーペチュアルプラットフォームであるdYdX、GMX、Kwentaが、6つのプロトコル間で建玉総額の90%を独占しています。



トレーダーと開発者向けの最も包括的な暗号通貨データ API

CoinGecko のエンタープライズグレードの API は、業界をリードするプラットフォームである CoinGecko.com と同じインフラストラクチャ上に構築されています。

当社の REST API を使用すると、当社が所有する、広範で拡大し続ける取引所と暗号資産のリストから、履歴データやリアルタイムデータにアクセスすることが可能になります。

何百もの世界有数の暗号通貨取引所や製品から信頼されている当社の API により、信頼性が高く正確なデータを使用してプロジェクトを実行できるようになります。

10,000+
コイン

750+
取引所

3,000+
NFTs

10B+
Calls per Month

50
エンドポイント

10 Years
歴史データ

さらに多くのエンドポイントの改善があります



最初の1ヶ月は無料！
Geckos のアナリスト API サブスクリプション

プロモーションコード

WELCOME2023

SIGN UP

*プロモーションは2023年9月30日まで有効です。プロモーションコードは新規サブスクリプションにのみ適用され、サブスクリイバーは Analyst API の月次または年次サブスクリプションに対して129ドルの割引を受けることができます。



FOLLOW US





THAT'S ALL! THANK YOU FOR READING :)